

HAMMOND

XK-2

DRAWBAR KEYBOARD

Quick Features Guide

取扱説明書



The B-3 World of
the HAMMOND XK-2

- この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」をよくお読みください。
また、この機器を十分ご理解いただき優れた性能を使いこなされるためにも、この取扱説明書をよくお読みください。
取扱説明書は必要とときすぐにご覧になれるところに置いてください。
- この取扱説明書に掲載している画面は工場出荷時の設定に基づいておりますが、一部で出荷時の設定と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れあり キャビネットをあけるな	
注意: 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。修理は、専門のサービス員に依頼してください。		



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルであり取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

 警告	
●この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。	
●この機器を分解したり、改造したりしないでください。	
●修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ず専門のサービス員に相談してください。	
●次のような場所での使用や保存はしないでください。 ○温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など） ○水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿気の高い所 ○ホコリの多い場所 ○振動の多い場所	
●電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。	

警告

- 電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。電源コードに傷がつきます。



- この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快な程の音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。



- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対に入れないでください。



- 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードなどを取り外し、専門のサービス員に修理を依頼してください。

- 電源コードやプラグが破損したとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき



注意

- この機器は、正常な動作が妨げられることのない所に設置して、使用してください。



- 電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。



- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。





使用上のご注意

HAMMOND ORGAN

●使用環境のご注意

直射日光の当たるところ、暖房機具のすぐ近く、湿気やホコリの多いところでの使用は避けてください。この製品は、常温の屋内で使用するよう設計されています。屋外で使用される場合には、1) 雨がからまない場所、2) 強風が吹かない場所、3) 極端な温度変化のない場所に設置してください。

●据付場所のご注意

設置、据付の前に取扱説明書をよくお読みください。

平らで安定した場所への設置、据付をしてください。不安定な場所への設置、据付は絶対にしないでください。火災、地震の際にはオルガンに近づかないようにしてください。

●使用される前のご注意

使用される前には必ず取扱説明書をお読みください。

電源コードは、定格電圧100V 50/60Hzの電源プラグにしっかりと差し込んで使用してください。

コードをひっぱって抜かないで、必ず根元の部分を持って抜いてください。

電源コードを電源プラグに差し込む場合には、必ず本体の電源をオフにしてください。また濡れた手で電源コードをさわりますと、感電する恐れがありたいへん危険です。

長期間ご使用にならない場合には、電源コードを電源プラグから抜いておいてください。

外部機器（例えばレスリースピーカー、MIDI機器）を接続して使用する場合にも、必ず本体の電源をオフにしてください。接続するレスリースピーカー、MIDI機器の電源もオフにしてください。

●用途以外の使用禁止

本機の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。

転倒や落下の恐れがありたいへん危険です。

●使用方法

取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。

本体、各種装備、または内部電子部品を改造しないでください。

もし改造された場合は非常に危険です。正常動作の保証はいたしません。

●保守

キャビネット、鍵盤等を汚れていない乾いた布などでふき、本機を常に清潔にしてください。

アルコール、ベンジン、シンナー等は製品をいためる恐れがあります。

●異常時の処置

異音、異臭等が発生した場合には、本体の電源を切り、すみやかに専門のサービス員に点検を依頼してください。絶対に内部の電子機器に触れないでください。感電する恐れがあります。

メモリーのバックアップについて

本機は、内蔵されている電池によりデータのバックアップを行います。
トランスポーズの機能は、バックアップされませんので、ご注意ください。

電源をONしたとき、数秒間、次のようなディスプレイ表示が出たときは、ご注意ください。

■電池の電圧が低くなっています。

!! ATTENTION !!
<CHANGE BATTERY>

バックアップ用電池の電圧が下がっています。お早めに、購入店に電池の交換をご依頼ください。
ディスプレイは、数秒間、表示した後、「プレイモード」の表示になります。

※本機は、電源を入れたとき、メモリー・チェックを行います。メモリーのバックアップが正常に行われていないと、自動的にイニシャライズ（初期化）を行います。

メモリーのバックアップが正常に行われていれば、イニシャライズ（初期化）は実行されず、「プレイモード」の表示をします。

※電池交換の目安は、リチウム電池でのご使用で製造年月日よりおよそ5年です。

■電池が正しく挿入されていません。

!! WARNING !!
<CHECK BATTERY>

バックアップ用電池が正しくセットされていないか、または電圧がありません。お早めに、購入店に電池交換をご依頼ください。

ディスプレイは、数秒間、表示した後、自動的にイニシャライズ（初期化）を行います。イニシャライズ（初期化）が終了すると「プレイモード」の表示になります。

■バックアップ回路に異常があります。

!! EMERGENCY !!
<CHECK BATTERY>

そのままご使用されますと、本機に多大な損傷を与える可能性があります。すみやかに電源を切り、購入店に修理をご依頼ください。

本機の故障、外的ノイズ、修理や電池交換などによるメモリー内容の消失により生じた損傷、逸失利益または第三者からのいかなるご請求についても、当社では一切その責任は負えませんので、あらかじめご了承ください。

新しくエディットされた各パラメーターは電池によってメモリーバックアップされています。大切なデータはユーティリティプログラムのMEMORY DUMPを使用し、外部のMIDI機器に保存することをおすすめします。

エラーメッセージについて

**PLEASE
POWER ON AGAIN X**

このような画面が表示された場合、電源を1度切り、数秒後に電源を入れ直してください。このとき本機の動作を正常に戻すためにオールイニシャライズ（すべてのデータを初期化）されることがあります。エラーメッセージが頻繁に表示される場合は、ディスプレイ画面のXに表示されたエラー番号を確認のうえ、すみやかに電源を切ってください。購入店に修理をご依頼される場合は、エラー番号をお伝えください。

**- ATTENTION -
MIDI BUFFER FULL**

このような画面が表示された場合、MIDI情報が過度に入出力されています。
外部にMIDI入力される機器を接続している場合は、その機器のMIDI出力を中止してしばらくお待ちください。再び同じメッセージが表示される場合は、外部機器を再設定するなどMIDI出力を制限する必要があります。

ごあいさつ

このたびは、ハモンドオルガン XK-2 をお選びいただきまして誠にありがとうございます。
ございます。

XK-2 は 1934 年ローレンス・ハモンドにより 1 号機モデル A 型を発表して以来、60 年余りもの間、世界中の多くのミュージシャンに愛用され、様々なミュージックシーンで演奏されつづけてきた伝統のハモンドサウンドを新開発 VASE II + DRB システムで再現し、最新の DSP テクノロジーによって誕生したデジタル・レスリーを搭載した新世代のハモンドオルガンです。本製品はお好みのオルガン・サウンド作りから MIDI コントロールにいたるまでの多機能にもかかわらず、コンパクトかつ使いやすく設計された製品です。

21 世紀にむけてより多くの演奏者にハモンドサウンドを愛していただくことを願い、XK-2 をお届けいたします。

XK-2 の優れた機能を十分に発揮いただき、末永くご愛用いただくため、ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

株式会社 鈴木楽器製作所

目次

安全上のご注意

使用上のご注意

メモリバックアップについて

エラーメッセージについて

ごあいさつ	1
目次	2
XK-2 各部の名称と働き	6
演奏を始める前に	10
接続	10
電源を入れる	11
ディスプレイについて	11
XK-2の初期化について	12
デモ演奏について	13
オルガンを演奏する	14
ボリューム	14
プリセット	14
ドローバー	15
ドローバーセレクト	19
パーカッション	20
ビブラート/コーラス	21
レスリー	21
スプリット	22
ホイール	22
XK-2のシステム構成	23
システム概要	23
MIDIと鍵盤	23
プリセットとキャンセル	24
パラメータについて	24
モードについて	25

プリセットの設定

プリセット・パラメータ・エディット	26
プリセット・パラメータ	26
プリセット ネーム	28
■プリセットネーム	28
ドローバー	
■ドローバー・レジストレーション	28
■ドローバーアタック&キークリック	30
■ドローバーサスティン	31
■ドローバーボイス	32
■ドローバーフォールドバック	33
パーカッション	
■パーカッションディケイ	35
■パーカッションレベル	36
■パーカッションタッチ	37
■パーカッションベロシティ	37
■パーカッションドローバーキャンセル	38
■パーカッションドローバーレベル	38
■パーカッションキートラック	39
アニメーション	
■ビブラートスピード	40
■レスリーブプリセット	40
■リバーブパラメータ1 (モード)	41
■リバーブパラメータ2 (レベル)	41
■オーバードライブ	42
■トレブルコントロール	42
■フェーズコントロール	43
インターナル・コントロール	
■スプリットポイント	44
■スプリットモード	44
■ロワーオクターブ	45
■ベンドレンジス	45
■モジュレーションモード	46
■オルガンゾーンキーマップ	47
エクスターナル・コントロール	
■ゾーンチャンネル	48
■ゾーンプログラムナンバー	49
■ゾーンバンクナンバーMSB	50
■ゾーンバンクナンバーLSB	51
■ゾーンキーマップロー	52
■ゾーンキーマップハイ	53

■ゾーンキーオクターブ.....	54
■ゾーンボリューム最大.....	54
■ゾーンボリューム最小.....	55
■ゾーンベロシティカーブ.....	56
■ゾーンベンダースイッチ.....	57
■ゾーンモジュレーションスイッチ.....	57
■ゾーンダンパースイッチ.....	58
プリセットのレコード.....	59

XK-2全体の設定 (グローバル・パラメータ・エディット)

レスリー・パラメータ・エディット..... 61

レスリー・パラメータ.....	61
レスリー・プリセット.....	62
■レスリープリセット.....	62
■スロースピード.....	63
■ファーストスピード.....	64
■ライズタイム.....	65
■フォールタイム.....	66
■ブレーキタイム.....	67
■ボリュームバランス.....	68
■マイクセッティング.....	69
■レスリーパーカッション.....	70

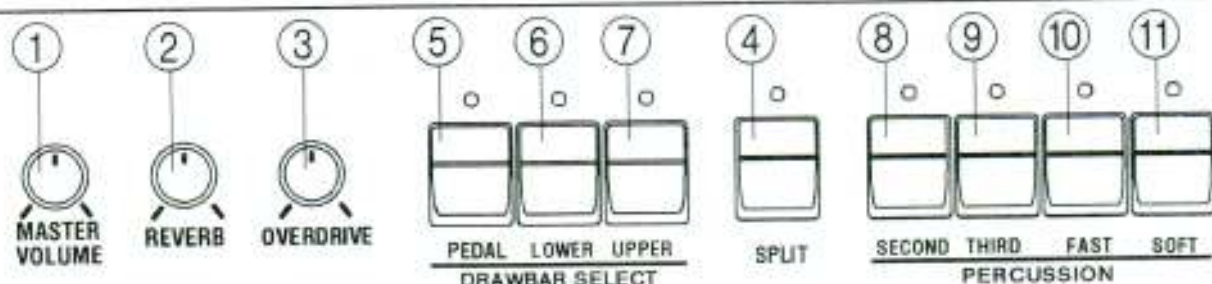
システム・パラメータ・エディット..... 71

システム・パラメータ.....	71
■マスターチューン.....	73
■チューンモード.....	73
■トランスポーズ.....	74
■ドローパーボリューム.....	74
■フィットスイッチ.....	75
■MIDI チャンネル.....	77
■MIDI エクスプレッションチャンネル.....	78
■MIDI ローカル/オムニ/NRPN.....	78
■MIDI コントロールナンバーの設定 フィットスイッチ/モジュレーション/エクスプレッション/レスリー.....	80
■MIDI ゲート プログラムチェンジ/ドローパーチェンジ/コントロールチェンジ/T x ベンダー/ T x モジュレーション/R x プレス/R x アフタータッチ.....	82
■ボリューム最大時の設定.....	85
■ボリューム最小時の設定.....	85
■MIDI R x トランスポーズ.....	86
■MIDI ソフト・スルー.....	86

ユーティリティ	87
ユーティリティ	87
■メモリーダンプ	89
■プリセットコピー	91
■プリセットデフォルト	92
■オールリセット	93
■プリセットリセット	94
■レスリーリセット	94
■システムリセット	95
■エクスペクションモニタ	96
■デモソング	96
XK-2の一步進んだ使い方	98
■フル・マニュアルオルガンの設定1	98
■フル・マニュアルオルガンの設定2	99
■シーケンサーとの接続	100
MIDIとは	102
システム・パラメータ・リスト	104
レスリー・パラメータ・リスト (MIDI NRPN)	104
プリセットパラメータ・リスト (MIDI NRPN)	
(各チャンネルについて)	108
MIDIドローバー・データ	109
システム・エクスクルーシブ	109
MIDIキーデータ・フローチャート.....	110
操作フローチャート	112
プリセット	112
グローバル (システム/ユーティリティ)	114
グローバル (レスリー)	115
XK-2仕様	116
アフターサービスと保証について	

XK-2 各部の名称と働き

フロント・パネル



1. MASTER VOLUME(マスター・ボリューム)つまみ

XK-2の音量を調節します。

2. REVERB(リバーブ)つまみ

リバーブのかかり具合を調節します。

3. OVER DRIVE(オーバードライブ)つまみ

オーバードライブのかかり具合を調節します。

4. SPLIT(スプリット)スイッチ

鍵盤を2つに分け、それぞれに異なる音色を割り当てます。

● DRAWBAR SELSCT(ドローバー・セレクト)

ドローバーの設定をするパートを選択します。

5. PEDAL(ペダル)スイッチ

ドローバーを動かすと、ペダル・パートの音色が変化します。ただし、ペダルのドローバーは、16'と8'です。

6. LOWER(ロワー)スイッチ

ドローバーを動かすと、ロワー・パートの音色が変化します。

7. UPPER(アッパー)スイッチ

ドローバーを動かすと、アッパー・パートの音色が変化します。

● PERCUSSION(パーカッション)

アッパーのパートにパーカッションを加えます。

8. SECOND(セカンド)スイッチ

オルガンの音にセカンド・パーカッション(4'の減衰音)を加えます。

9. THIRD(サード)スイッチ

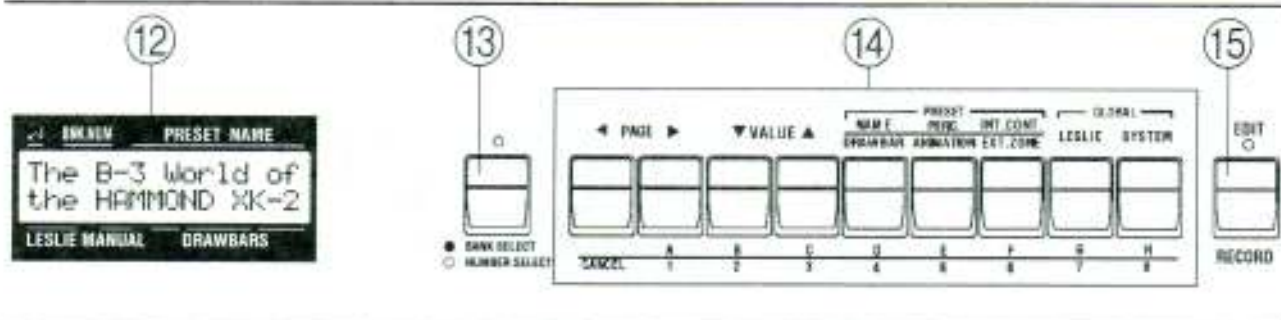
オルガンの音にサード・パーカッション(2-2/3'の減衰音)を加えます。

10. FAST(ファースト)スイッチ

パーカッションの減衰時間を切り換えます。

11. SOFT(ソフト)スイッチ

パーカッションの音量を切り換えます。



12. ディスプレイ

XK-2の演奏に必要なセッティングやパラメータの設定値などすべての演奏情報とエラーメッセージを表示します。

13. BANK SELECT/NUMBER SELECT(バンク・セレクト/ナンバー・セレクト)スイッチ

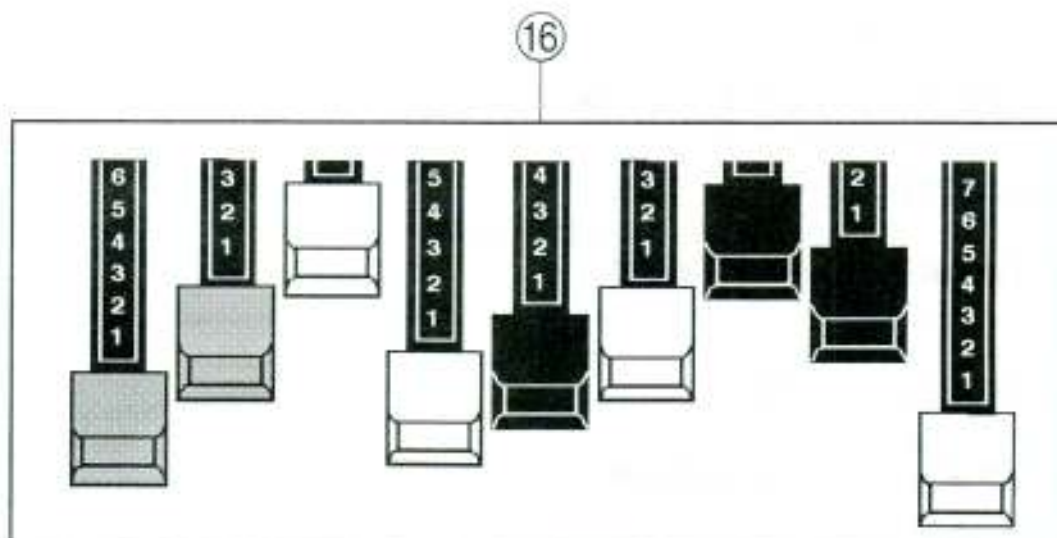
オルガン・プリセットのバンクがナンバーを選択します。LED点灯時はバンク、LED消灯時はナンバーを選択しています。

14. CANCEL,PRESET(キャンセル、プリセット)スイッチ

キャンセル、プリセットはオルガンの設定を瞬時に切り換えることができます。詳しくはXK-2のシステム構成をご覧ください。通常は、プリセットのキャンセルとプリセットのバンクとナンバーを決定します。EDITスイッチを押してLEDが点灯しているときは、各エディットに関するスイッチになります。

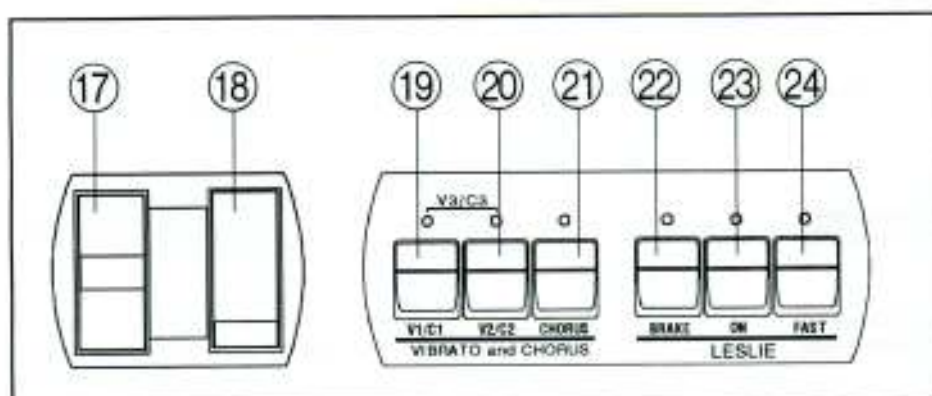
15. EDIT/RECORD(エディット/レコード)スイッチ

エディット・モードに入るとき、またはデータを保存するときに使います。



16. DRAWBAR(ドローバー)

オルガン音色の基本となる部分を調節します。リアルタイムで音色を変化させることができます。



17. PITCH BENDER(ピッチベンダー)

本体や外部のMIDI機器のピッチを変更するときに使います。
ホイールを奥に回すとピッチが高くなり、手前に回すと低くなります。

18. MODULATION(モジュレーション)

外部のMIDI機器をコントロール(ビブラートなど)するときに使います。

● VIBRATO and CHORUS(ビブラート/コーラス)

ビブラートまたはコーラスをかけることができます。
※ビブラートとコーラスを同時にかけることはできません。

19. V1/C1(ビブラート1/コーラス1)スイッチ

ビブラート1またはコーラス1をかけるときに使います。ただし、コーラス1にしたいときは、CHORUSスイッチを押してください。

20. V2/C2(ビブラート2/コーラス2)スイッチ

ビブラート2またはコーラス2をかけるときに使います。ただし、コーラス2にしたいときは、CHORUSスイッチを押してください。

V3/C3(ビブラート3/コーラス3)

ビブラート3またはコーラス3をかけるときは、V1/C1スイッチとV2/C2スイッチを押してください。ただし、コーラス3にしたいときは、CHORUSスイッチを押してください。

21. CHORUS(コーラス)スイッチ

コーラスをかけるときに使います。

● LESLIE(レスリー)

レスリー・スピーカーのような、音の効果が得られます。

22. BRAKE(ブレーキ)スイッチ

レスリー・スピーカーを通した音になります。また、レスリー・オフにしたときローターがゆっくり停止します。

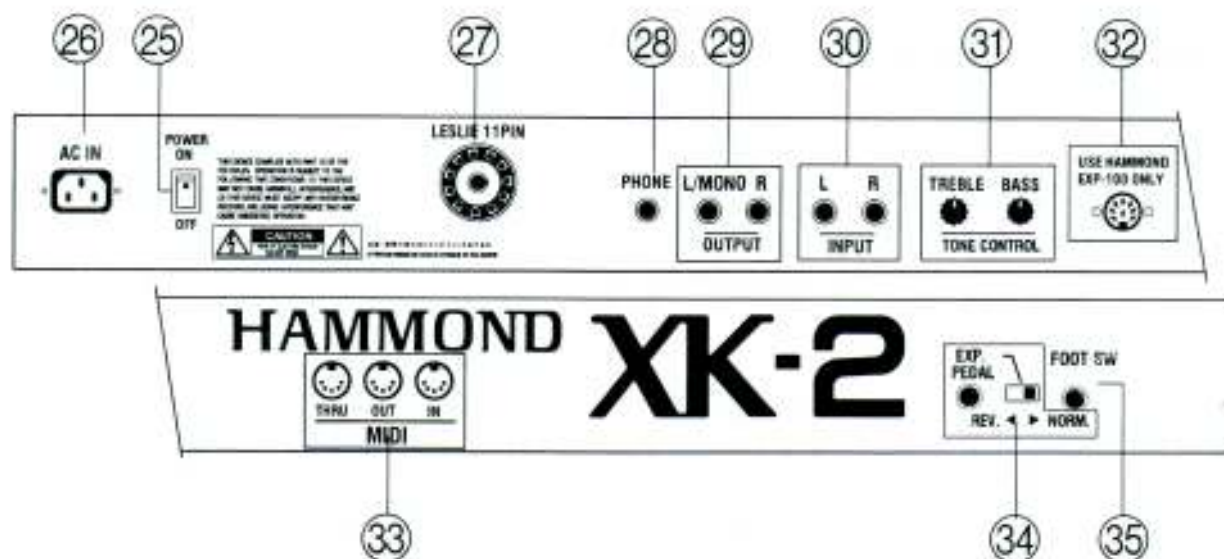
23. ON(オン)スイッチ

ローターが動き始めます。

24. FAST(ファースト)スイッチ

ローターが高速で回転します。

リア・パネル

**25. POWER(パワー)スイッチ**

電源をオン/オフします。

26. AC インレット

付属の電源コードを接続します。

27. LESLIE 11 PIN 端子

別売のレスリー・スピーカー（11ピンタイプ）を接続します。本機は1チャンネル仕様ですので、ROTARYチャンネルのみ出力します。

28. PHONE 端子

別売のステレオ・ヘッドホンを接続します。

29. OUTPUT L(MONO)/R 端子

外部のアンプやミキサーに音声信号をステレオL(MONO)/Rで出力します。モノラルで出力するときはL(MONO)に接続してください。

30. INPUT L/R 端子

ラインレベルの入力端子です。ここに入力された信号は本機の音とミックスして出力されます。LESLIE端子からはROTARYチャンネルに出力されますので、お手持ちの電子楽器をレスリースピーカーで鳴らすことができます。

31. TONE CONTROL (トーンコントロール) つまみ

音質の調節をするつまみです。TREBLEは高音、BASSは低音を増減します。

32. EXP-100 端子

別売のエクスペッションペダルEXP-100専用端子です

33. MIDI 端子

本機とMIDI機器を接続する端子です。接続にはMIDIケーブルをご使用ください。

IN : MIDI情報を受信します。

OUT : MIDI情報を送信します。

THRU : INから受信したMIDI情報をそのまま送信します。

34. EXP.PEDAL 端子

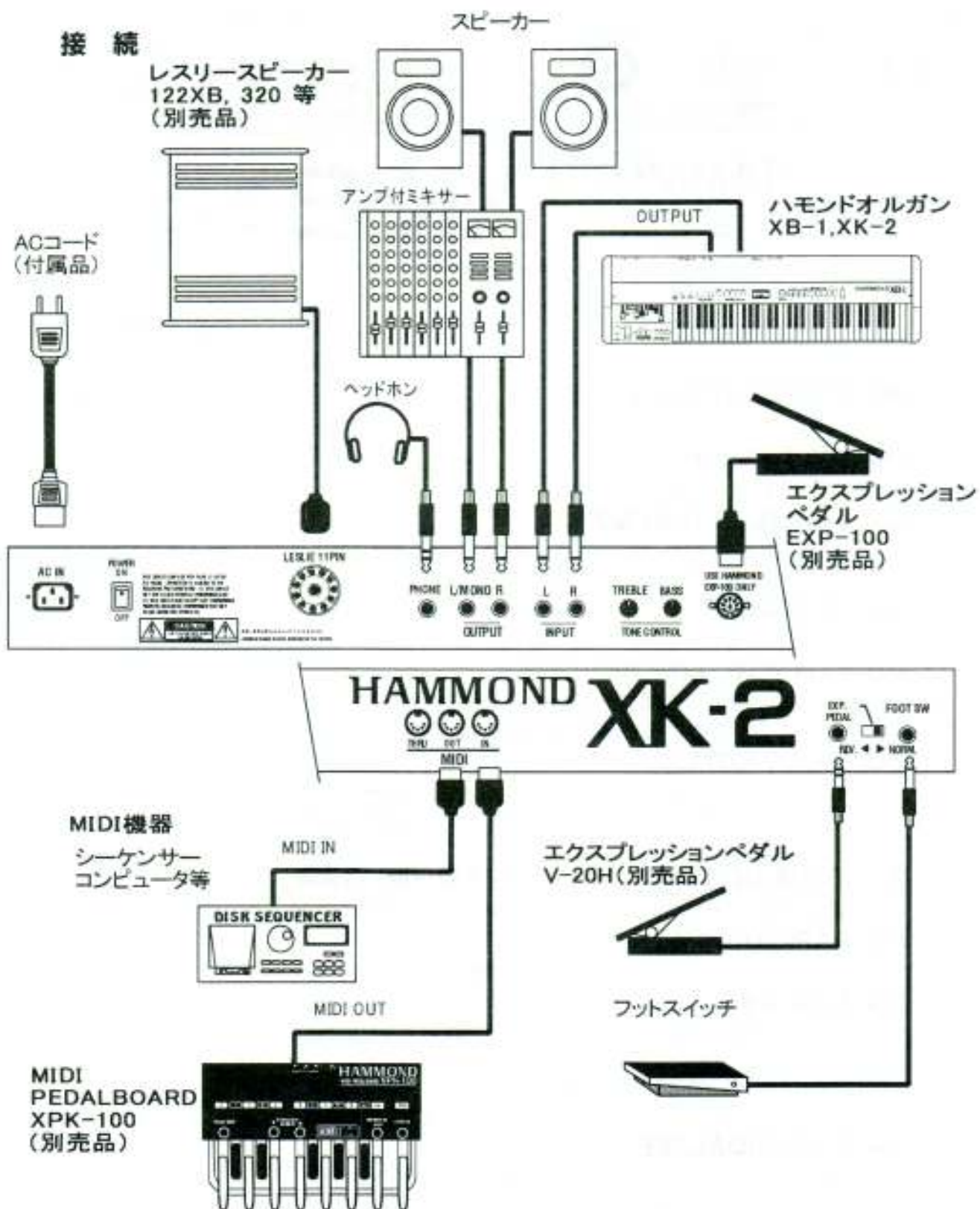
別売のエクスペッションペダルV-20H等を接続する端子です。

スライドスイッチは、接続されるエクスペッションペダルによって極性を変更するためのスイッチです。V-20Hを使用される場合はNORM側にしてください。

35. FOOT SW. 端子

別売のフット・スイッチFS-9H等を接続する端子です。フット・スイッチの機能及び極性は、システムパラメータで設定します。

演奏をはじめる前に



電源を入れる

接続が完了したら、以下の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたリスピーカー等の破損を生じることがあります。

- 操作手順
1. 電源を入れる前にXK-2のMASTER VOLUMEつまみが最小になっていることを確認してください。
 2. XK-2のリア・パネル（本体背面）のPOWERスイッチをONにしてください。
※回路保護のため、電源を入れた直後はしばらく動作しません。
 3. 接続しているアンプ類の電源を入れてください。
 4. 鍵盤を押しながら、MASTER VOLUMEつまみを回して音量を調節してください。



5. アンプ類の音量を調節してください。

●電源投入時の状態

XK-2は、電源を切る直前の状態を記憶しています。そのため、電源投入時は電源を切る直前の状態になります。ただし、工場出荷時はCANCELスイッチを押したのと同じ状態になります。

※工場出荷時のCANCELは音が出ません。ドローバーを操作するか、プリセットスイッチを押して下さい。

ディスプレイについて

本体中央にあるLCDディスプレイに、音色設定に関わる必要なセッティングや、パラメーター設定値などのすべての演奏情報が表示されます。

XK-2は、基本的な演奏情報を表示するプレイ・モードと、プリセット、レスリー、システムを設定するエディット・モードがあります。各モードによってディスプレイ表示が変わります。電源を入れると、最初にプレイ・モード画面が表示されます。エディット・モードに入るときは、EDIT/RECORDスイッチを押してください。

■プレイ・モード■

XK-2の電源を入れると、ディスプレイは下記のように表示されます。



工場出荷時の表示

数秒後ディスプレイは、電源を切る直前の画面になります。

●プレイ・モードのディスプレイ情報

- | | |
|----------------|---|
| 1. MIDI | : MIDI INのノート・オンを受信すると、* (アスタリスク) が表示されます。 |
| 2. BANK-NUMBER | : プリセットのBANKとNUMBERを表示します。 |
| 3. PRESET NAME | : プリセットのNAMEを表示します。 |
| 4. LESLIE | : レスリーのプリセット#を表示します。 |
| 5. MANUAL | : UM (UPPER)、LM (LOWER)、PK (PEDAL) は、どのドローバーのレジストレーション表示かを示します。 |
| 6. DRAWBARS | : ドローバーのレジストレーションを表示します。同一MANUALのDRAWBAR SELECTスイッチを再度押すことによって表示を数字に変えることができます。 |

XK-2 の初期化

工場出荷時の状態に戻ります。初期化の種類は、以下の通りです。

■オールリセット■

プリセット、レスリー、システム、すべての設定を工場出荷時と同じ状態にします。DRAWBAR SELECTスイッチのUPPER,LOWER,PEDALの3つを押しながら電源を入れます。または、グローバル・パラメータ・エディット (ユーティリティ) の■オールリセット■をご覧ください。

■プリセット・パラメーターのリセット■

グローバル・パラメータ・エディット (ユーティリティ) の■プリセット・パラメーターのリセット■をご覧ください。

■レスリー・パラメーターのリセット■

グローバル・パラメータ・エディット (ユーティリティ) の■レスリー・パラメーターのリセット■をご覧ください。

■システム・パラメーターのリセット■

グローバル・パラメータ・エディット (ユーティリティ) の■システム・パラメーターのリセット■をご覧ください。

デモ演奏について

XK-2には、3曲のデモ・ソングが入っています。

■デモ演奏を聞く■

デモ・ソングを選択してスタートさせます。

- 操作手順
1. EDITスイッチ (LED点灯)
 2. SYSTEMスイッチ
 3. ◀PAGEスイッチ

**U10 DEMO. SONG2
SELECT SONG 1**

▼VALUE▲スイッチによって、1～3を選択します。

4. ◀PAGEスイッチ

**U10 DEMO. SONG1
PLAY OFF**

▼VALUE▲スイッチによって、PLAY ONにすると演奏がスタートします。デモ演奏は、3曲を繰り返し演奏します。

演奏を終了するときは、▼VALUE▲スイッチによって、PLAY OFFにします。

●プレイ・モードでBANKスイッチとCANCELスイッチを2秒間押し続けても、デモ演奏が始まります。演奏を終了するときは、CANCELスイッチを押します。

オルガンを演奏する

ボリューム

■マスターボリューム(MASTER VOLUME)■

XK-2 の音量を調節します。(ヘッドホン接続時は、ヘッドホンの音量を調節します。)

※ヘッドホンで聞く際は、音量の上げすぎや長時間のご使用に注意して下さい。聴覚障害の原因になります。



■リバーブ(REVERB)■

コンサート・ホールのような残響効果をつけます。



■オーバードライブ(OVER DRIVE)■

アンプやレスリーに対して入力オーバーさせたダイナミックな音の効果をつけます。

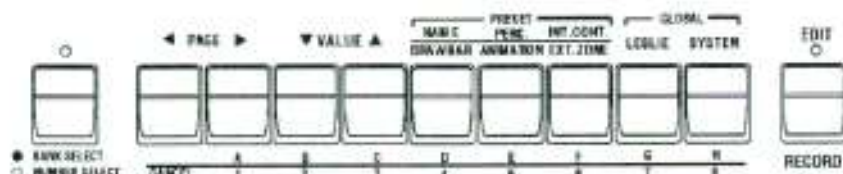


プリセット(PRESET)

ドローパーレジストレーションやパラメータの設定を切り換えます。XK-2には、CANCELと64種類のプリセットが内蔵されています。

プリセットは、A-1のようにA(バンク)と1(ナンバー)で表示されます。これは、A~H(8個)のバンクの中にそれぞれ1~8(8個)のプリセットが内蔵されているからです。

ただし、CANCELは64種類の中のプリセットにも属しません。



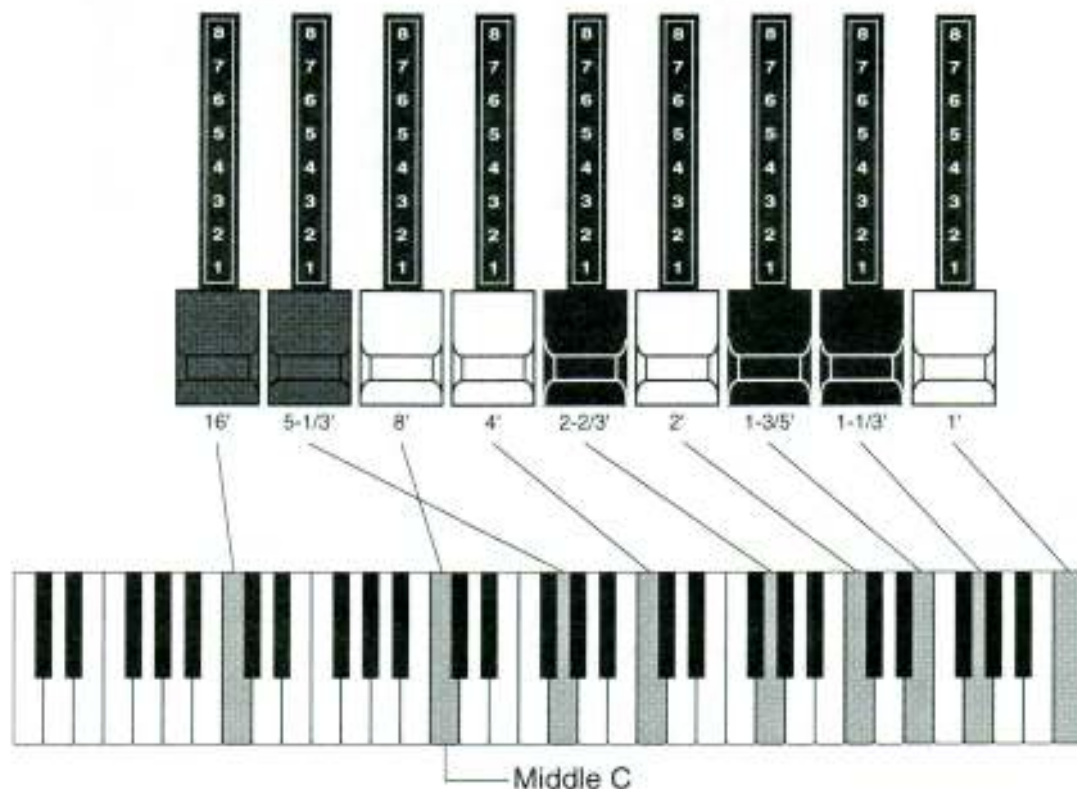
●プリセットの選択

1. EDITスイッチのLEDが消灯していることを確認してください。(エディット・モードでは、プリセットを変更することはできません。) LEDが点灯しているときは、EDITスイッチを押してエディット・モードから抜けてください。
2. BANK SELECT/NUMBER SELECTスイッチを押す。(LED点灯)
3. A~Hスイッチを押す。(バンク選択)
4. BANK SELECT/NUMBER SELECTスイッチを押す。(LED消灯)
5. 1~8スイッチを押す。(ナンバー選択)

ドローバー

■ドローバー操作■

オルガンの音色は、9本のドローバーの組み合わせで決まります。ドローバーには、1~8の目盛りがついています。数字が見えなくなるまでドローバーを押し込むと、そのドローバーの音は鳴らなくなります。ドローバーをいっぱいに引き出すと、そのドローバーの音は最大になります。プリセットのドローバーレジストレーションに対して操作したドローバーのみ更新されます。

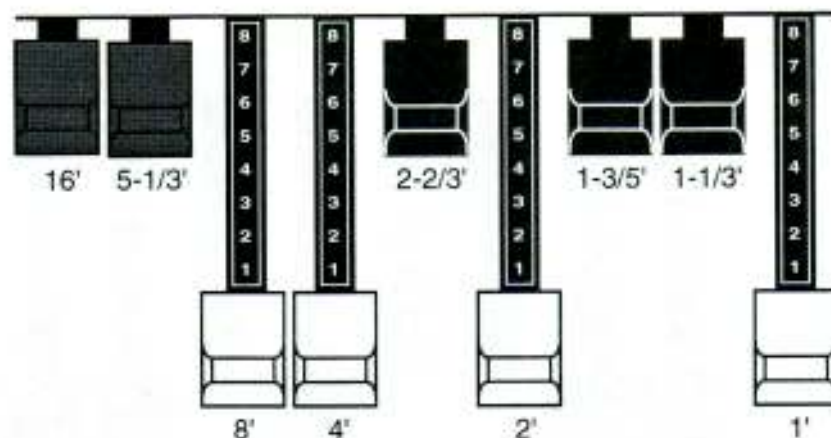


図のように、8'で中央のC(ド)を押さえたとき、各ドローバーの音の高さは上図のようになります。また、ドローバーに記されているフィート(')という表示は、もともとパイプオルガンのパイプの長さから転用された言葉です。各ドローバーには1~8の数字が記されていますが、これは音色を作るうえでのボリュームであると同時に、簡単にセットするための目印です。

例えば、クラリネットを吹くと、管の内部で空気が振動し、基音(8')と第3倍音(2-2/3')と第5倍音(1-3/5')が同時に発生します。この場合、3本のドローバーを引き出すとクラリネットの音が出ます。また、3本のドローバーのうち、右側を多めに、左側を少なめに引き出すと、高い音の成分が多くなり、かたい音の感じになります。逆に、左側のドローバーを多めに引き出し、ソフトな音色を作ります。このように、ドローバーを使い、同じ音色でも曲の流れや好みに応じて微妙に音の変化を作ることができます。

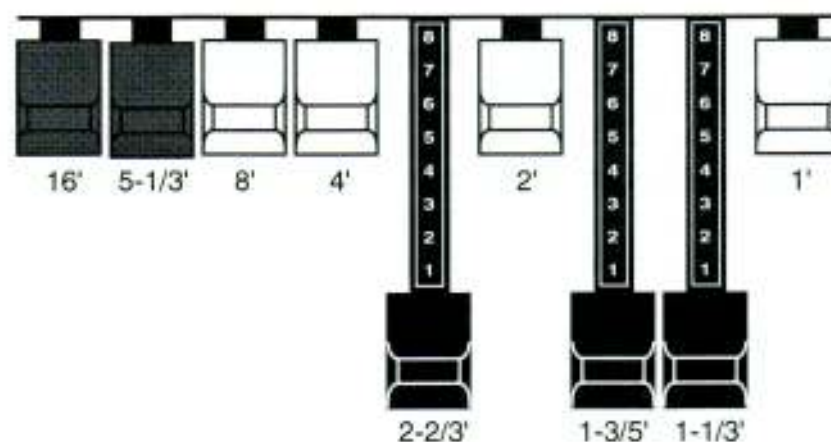
白いドローパー

各ドローパーの中で、白の左端(8')のドローパーが基音(すべての倍音の中で最も低い音の成分で、基音になる音)を作ります。その他の白いドローパーは右へ行くほどオクターブずつ高くなります。



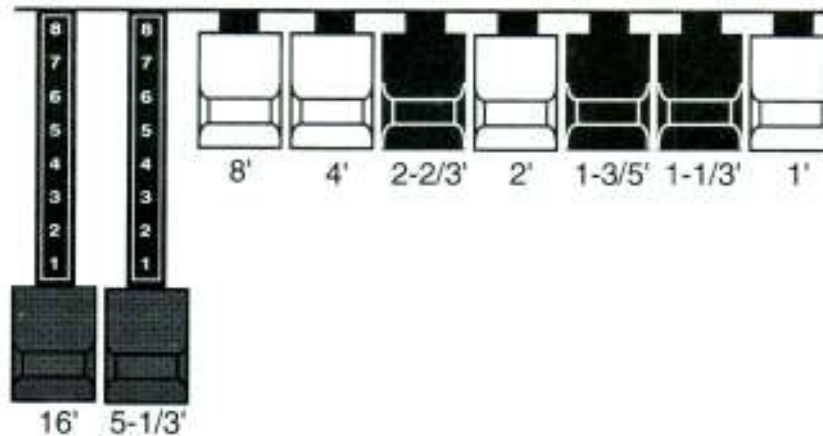
黒いドローパー

黒いドローパーの音は、基音に対して5度、3度関係の音になっていますが、豊かな音色を組み立てるうえで重要な役割を果たします。甘く柔らかな響きを持つホルン、艶のある弦楽器など、すべて異なる倍音の成分を含んでいるのです。



茶色のドローパー

左端の2本の茶色いドローパーは、音色に深みと豊かさを加える役目をします。左の16'は、8'の1オクターブ下の音、5-1/3'は16'を基音とする第3倍音です。通常は8'を基音として音色の組み合わせをしますが、音に深みを加えたり、また、鍵盤上の音域を1オクターブ広げたいときなどには16'を基準に音づくりをします。

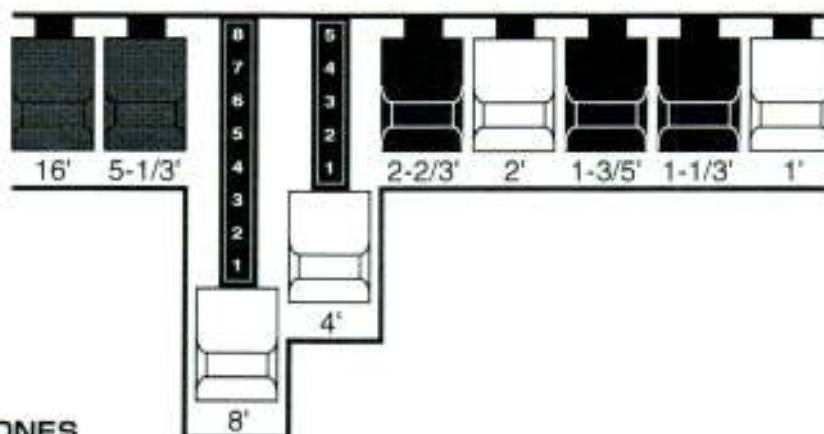


ドローパー・レジストレーション・パターン

ドローパー・レジストレーションは、正確には数字で合わせますが、通常の演奏ではむしろ9本のドローパーの組み合わせを形で覚えることが合理的です。

ドローパーのレジストレーションは、大別して次の4つのパターンに分類できます。

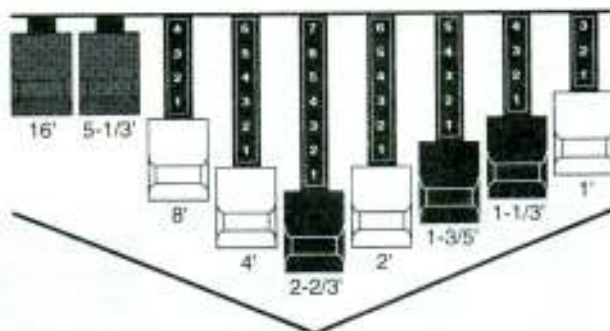
フルート系 Flute family-(2 step Pattern)



FLUTE TONES

Accompaniment flute, 8'	00 8460 000	Flute 2'	00 0106 004	Piccolo 2'	00 0006 003
	00 3220 000	Flute(Organ type)16'	50 3000 000	Principal Flute 8'	00 8530 000
	00 9600 000	Flute(Organ type)8'	00 5300 000	Stopped Flute 8'	00 5020 000
Blokflöte 8'	00 5310 000	Flute(Organ type)4'	00 0503 000	Tibia 8'	00 7030 000
Blokflöte 4'	00 0503 010	Flute(Organ type)2'	00 0005 000	Tibia 4'	00 0700 030
Chorus of flutes 16'	80 8605 002	Nazard 2-2/3'	00 0030 000	Tibia(Solo) 8'	00 8020 000
Concert Flute 8'	00 6300 000	Open Flute 8'	00 7510 000	Tibia(Theater)16'	80 8605 004
Flute 8'	00 6201 000	Orchestral Flute 8'	00 3931 000	Wooden Open Flute 8'	00 8840 000
Flute 4'	00 0602 001				

リード系 Reed family-(triangle pattern)



REED TONES

Bassoon 16'	44	7000	000	Kinura 8'	00	0172	786	Trombone 8'	01	8777	530
Bassoon 8'	05	7500	000	Oboe/Orchestral/8'	00	4764	210	Trumpet/Orchestral/8'	00	6788	650
Bombarde 16'	86	8400	000	Oboe/Organ type/8'	00	4571	320	Trumpet/Organ type/8'	00	7677	320
Chorus reed 8'	00	7777	750	Oboe Horn 8'	00	4675	210	Tuba/Organ type/ 16'	88	8864	000
Clarinet 8'	00	6070	540	Post Horn 8'	00	6677	530	Tuba/Organ type/	03	6888	760
Clarinet	00	6060	300	Reed Chorus	63	8888	863	Tuba Sonora 8'	02	7768	640
English Horn 8'	00	3682	210	Saxophone 16'	76	7100	000	Vox Humana 16'	33	6045	000
Flugel Horn 8'	00	5777	530	Saxophone 8'	01	8762	431	Vox Humana 8'	00	4720	123
French Horn	00	7654	321								

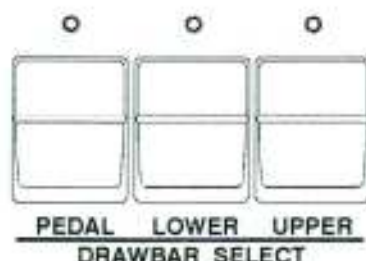
ドローバーセレクト

■ドローバーセレクト(DRAWBAR SELECT)■

●ドローバーを鍵盤に割り当てる

XK-2には、UPPER(上鍵盤)、LOWER(下鍵盤)、PEDAL(ペダル鍵盤)のマニュアルパートがあります。XK-2ではそれぞれマニュアルに異なるオルガンの音色を割り当てることができます。XK-2鍵盤は通常UPPERに割り当てられます。LOWER、PEDALの音を鳴らしたいときはスプリット機能を使うが、XK-2に他のキーボードを接続してLOWER、PEDALを割り当ててください。ドローバーセレクトのLOWERスイッチを押してLEDを点灯させると、ドローバーの操作はLOWERのドローバーを操作したことになります。

この時ディスプレイの表示もLM(LOWER MANUAL)となり、そのレジストレーションが表示されます。



●ドローバー表示を数字にする

LEDが点灯しているマニュアルのスイッチを押すとドローバーの表示が数字に変わります。もう一度押すともとの表示に戻ります。



●ドローバー操作を無効にする

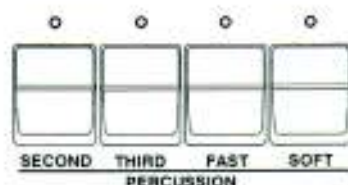
LEDが点灯しているマニュアルスイッチを押しながら、他のマニュアルスイッチを押すと、ドローバーセレクトの全てのLEDが消灯し、ドローバー操作が無効となります。この時ディスプレイはドローバーが無効になる前の状態を表示しており、ドローバーサウンドも表示と同じ音になります。ドローバーセレクトのどれかのスイッチを押すと押されたマニュアルのLEDが点灯し、もとに戻ります。

●現在のドローバーレジストレーションのサウンドにする

ドローバーレジストレーションとディスプレイのドローバー表示が異なる場合は、ディスプレイの表示のドローバーサウンドがでます。ディスプレイの表示(またはドローバーサウンド)をドローバーレジストレーションに合わせたい時は合わせたいドローバーのマニュアルのスイッチを押し続けます。2~3秒後、LEDの点灯が点滅に変わります。押し続けていたスイッチを離れた瞬間にドローバーレジストレーションとディスプレイの表示(またはドローバーサウンド)が一致します。

パーカッション(PERCUSSION)

パーカッションはハモンド独特の歯切れの良いアタック感をつくります。パーカッションは単独、もしくはドローパーと合成して使います。



■セカンドパーカッション(SECOND PERCUSSION)

セカンドパーカッションはドローパーの4'の音にアタックと減衰効果を加えたものです。セカンドパーカッションの効果を得るには、SECONDスイッチを押してLEDを点灯させます。

■サードパーカッション(THIRD PERCUSSION)

サードパーカッションはドローパーの第3倍音2-2/3'の音にアタックと減衰効果を加えたものです。ドローパーと合成することにより、力強さと質感を高めるのに使います。サードパーカッションの効果を得るには、THIRDスイッチを押してLEDを点灯させます。

■パーカッション・ディケイ・ファースト(PERCUSSION DECAY FAST)

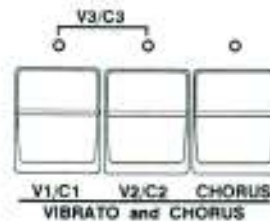
パーカッションの減衰時間を短くコントロールし、一音一音を引き締めます。アップテンポな曲で、歯切れの良いリズム感を出したいときに使うと効果的です。パーカッション・ディケイ・ファーストの効果を得るには、FASTスイッチを押してLEDを点灯させます。

■パーカッション・ソフト(PERCUSSION SOFT)

パーカッションの音量を下げる役割をします。つまり、アタックの頂点を下げる働きです。パーカッションをドローパーと合成する際に、音量バランスを設定します。パーカッション・ソフトの効果を得るには、SOFTスイッチを押してLEDを点灯させます。

ビブラート/コーラス(VIBRATO and CHORUS)

ドローパーのピッチを一定の速さで僅かに変化させ、音色に暖かみを加えます。



■ビブラート(VIBRATO)

音の高低による揺らぎ(ビブラート)をつけます。V1,V2はそれぞれのLEDが点灯しているとき、その効果を得ます。V3の効果を得るには、V1とV2のLEDを点灯させます。

- V1 : 比較的浅いビブラート
- V2 : 標準的な深さのビブラート
- V3 : 最も深いビブラート

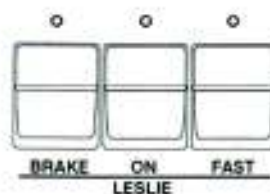
■コーラス(CHORUS)

音の厚みや広がり(コーラス・ビブラート)をつけます。この効果を得るには、CHORUSスイッチを押してLEDを点灯させます。C1、C2はそれぞれのLEDが点灯しているとき、その効果を得ます。C3の効果を得るには、C1とC2のLEDを点灯させます。

- C1 : 比較的浅いコーラス・ビブラート
- C2 : 標準的なコーラス・ビブラート
- C3 : 最も深いコーラス・ビブラート

レスリー(LESLIE)

レスリーとは、回転するローターによって立体的でダイナミックな音の臨場感を作るスピーカーのことです。XK-2では、レスリー効果をデジタルで再現しています。



■レスリー・オン(LESLIE ON)

レスリー効果を得るときは、ONスイッチを押してLEDを点灯させます。

■レスリー・ファースト(LESLIE FAST)

レスリー・オンした状態では、ローターはスロースピードになっています。ファーストスピードにしたいとき、FASTスイッチを押してLEDを点灯させます。

■レスリー・ブレーキ(LESLIE BRAKE)

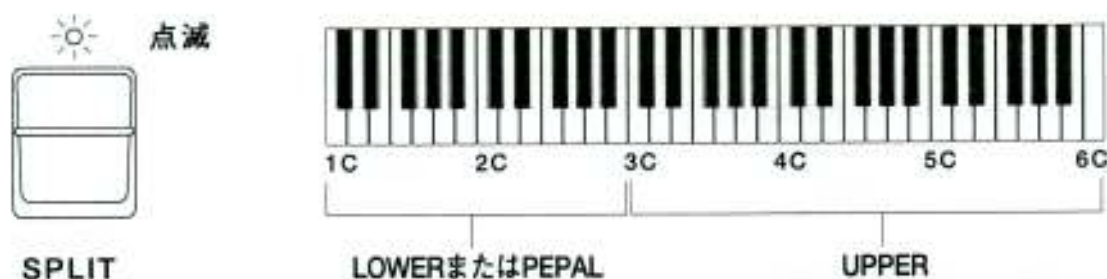
レスリー・オフ時の動作を設定します。BRAKEスイッチを押してLEDを点灯させた場合は、ローターがゆっくりと回転し止まります。ブレーキ・オフの場合(LED消灯)はローターの回転がない状態です。

スプリット

■スプリット(SPLIT)■

XK-2の鍵盤を2つに分け、それぞれに異なる音色を割り当てます。この機能を使うには、SPLITスイッチを押してLEDを点灯させます。鍵盤の分けたところをスプリットポイントとよびます。スプリットポイントの右側にUPPER、左側はLOWERまたはPEDALを割り当てます。工場出荷時のスプリットポイントは「2B」に設定されていますが、スプリットポイントは移動することができます。移動させるにはSPLITスイッチを使うか、エディット・モードの■スプリットポイント■で変更することができます。

※SPLITスイッチを使うときは、以下の手順でスプリットポイントを移動させます。



1. SPLITスイッチを押し続けるとLEDが点滅し、ディスプレイの表示が切り換わります。

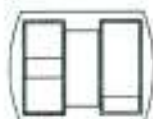


2. スプリットしたい鍵盤(1C~6C)を押します。押した鍵盤がLOWERの一番高い音になります。押した鍵盤がディスプレイの右下に表示されます。これでスプリットポイントが変更できました。
3. SPLITスイッチを押すとLEDが消灯し、プレイ画面に戻ります。

ホイール

■ピッチベンダー(PITCH BENDER)■

本体や外部のMIDI機器のピッチを変更するときに使います。ホイールを奥に回すとピッチが高くなり、手前に回すと低くなります。ホイール変化の値は変更することができます。詳しくはプリセット・パラメータ・エディット(インターナル・コントロール)の■バンドレンジス■をご覧ください。



■モジュレーション(MODULATION)■

本体(レスリー/オーバードライブ)や外部のMIDI機器のコントロール(ビブラートなど)の変更をするときに使います。詳しくはプリセット・パラメータ・エディット(インターナル・コントロール)の■モジュレーションモード■をご覧ください。

XK-2のシステム構成

システム概要

XK-2はシングル・マニュアルのコンポオルガンですが、内部ではB-3のようなアッパー、ロワー、ペダルの3段鍵盤のオルガンに対応しています。ドローパー・セレクトによりアッパー、ロワー、ペダルのドローパー・レジストレーションを変化させ、外部のMIDI機器よりそれぞれのMIDIチャンネルを指定することで3つの鍵盤のドローパーの音を出すことができます。XK-2本体のみではスプリット機能により、アッパー+ロワー、アッパー+ペダル、ロワー+ペダルの組み合わせでオルガンを演奏することができます。

MIDIと鍵盤

XK-2は、1つの鍵盤にオルガンの音を割り当てているORGAN 1（工場出荷時：アッパー）、ORGAN 2（工場出荷時：ロワー）と外部音源をコントロールするためのZONE 1、2の4つのMIDIチャンネルを持っています。ORGAN 1、2は、特にシーケンサーの録音/再生の時に使用します。ZONE 1、ZONE 2チャンネルは外部音源を鳴らすためのチャンネルであり、MIDI OUTのみのチャンネルです。マスター・キーボードに匹敵するパラメータをそれぞれのチャンネルに独立して設定でき、これらのパラメータをプリセットにプログラムすることができます。



< MIDI IN >
 UPPER チャンネル
 LOWER チャンネル
 PEDAL チャンネル

< MIDI OUT >
 ORGAN 1 (UPPER チャンネル)
 ORGAN 2 (LOWER または PEDAL チャンネル)
 ZONE 1
 ZONE 2

※ORGAN 1、2をLOWER、PEDALチャンネルにも設定できますが、XK-2を2台使ったフルマニュアル・オルガン仕様の特別なモードですので、通常はお使いにならないで下さい。通常UPPERチャンネルはXK-2の「ベーシック・チャンネル」と呼ばれ、XK-2のプリセットパラメータの送受信のチャンネルとして使用されます。ORGAN 1、2をLOWER、PEDALチャンネルに設定すると、UPPERチャンネルがなくなり、プリセットのパラメータが送受信できなくなります。

プリセットとキャンセル

XK-2にはキャンセルと64種類のプリセットが内蔵されています。1～8の8つのプリセットをひとまとめにしてBANK（バンク）と呼び、A～Hの8つバンクで構成されています。キャンセルは特殊なプリセットと考えることができます。キャンセルはどのバンクにも属しません。どのバンクのキャンセルも同一のキャンセルです。キャンセルはプリセット同様、エディットすることができますが、レコードする必要はありません。これはリアルタイムに操作されたスイッチを、レコードしなくても記憶していることになります。キャンセルで操作したスイッチの状態は他のプリセット移行後にキャンセルに戻った時に再現されます。プリセットとキャンセルの大きな違いはXK-2本体のドローパーがどう機能するかの違いです。

- プリセット プリセットを切り換えるとXK-2本体のドローパーレジストレーションに関わらずプリセットに設定されたドローパーレジストレーションが有効になります。本体ドローパーは操作されたドローパーのみ変化します。
- キャンセル キャンセルに切り換えられるとドローパーセレクトでLEDが点灯しているマニュアル（鍵盤）のドローパーサウンドは、本体ドローパーのレジストレーションになります。

パラメータについて

XK-2には音色やエフェクトの設定、MIDIの設定、全体に関わる設定といった様々なパラメータが内蔵されています。このパラメータの設定を変えることで、最適な演奏状態を得ることができます。XK-2のパラメータは以下のように分けることができます。

- プリセット・パラメータ
- グローバル・パラメータ
 - レスリー・プリセット・パラメータ
 - システム・パラメータ

■プリセット・パラメータ

プリセットには、パネル上のスイッチ、プリセットの名前、ドローパーレジストレーション、オルガン音色オルガンのコントロールの設定、外部機器コントロール（MIDI OUT）の設定の各種の設定がパラメータ化されて記憶されています。プリセットを切り換えると、瞬時に各種のパラメータを切り換えることができます。このパラメータの設定を変更することをパラメータエディットと呼び、プリセットごとに記憶させることができます。パネル上のスイッチの設定はパネルスイッチの状態がそのままパラメータとなります。

※プリセットパラメータの詳細はプリセットパラメータリストをご覧ください

■グローバル・パラメータ

グローバルパラメータは全体に関わる設定で、レスリーパラメータとシステムパラメータがあります。これらのパラメータは、電源を切っても設定値は保存されます。

●レスリー・パラメータ

L#1~L#5の5つのレスリープリセットの設定を行います。つまり、それぞれ特性の異なるレスリーを5台用意しておくことになります。ローターの回転速度などのレスリーに関するパラメータが用意されており、お好みのレスリー効果が得られます。プリセットパラメータのレスリー・プリセット#を設定することで、どのレスリーと接続するかをプリセット単位で設定することができます。

●システム・パラメータ

マスターチューン、トランスポーズやMIDIの設定などのシステム全体に関わる設定を行います。

モードについて

XK-2には以下のようなモードがあります。

- プレイモード : 通常の演奏状態のモードです。電源投入時はこのモードになっています。
- エディットモード : パラメータのエディットを行うモードです。

各パラメータの説明には、そのパラメータのエディット画面を表示するまでの操作手順が明記してあります。

例 ドローバーボイスの設定

エディット# P11
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×6

エディット# : エディットの番号を示します。
 操作手順 1. : EDITスイッチを1回押します。
 2. : NAME/DRAWBARスイッチを5回押します。
 3. : PAGE▶スイッチを6回押します。

※この操作手順は説明用のものです。より効率良くエディット画面の移動を望まれる場合は、操作フローチャートをご覧ください。

- プリセット・パラメータ・エディットモード
- グローバル・パラメータ・エディット
 - ◆レスリー・パラメータ・エディットモード
 - ◆システム・パラメータ・エディットモード (ユーティリティ)

■レコードモード : エディットしたプリセット・パラメータを保存するモードです。

※プリセット・パラメータ・エディットからグローバル・パラメータ・エディットへの移行またはその逆はできません。一度エディットモードから抜けてプレイモードに戻る必要があります。

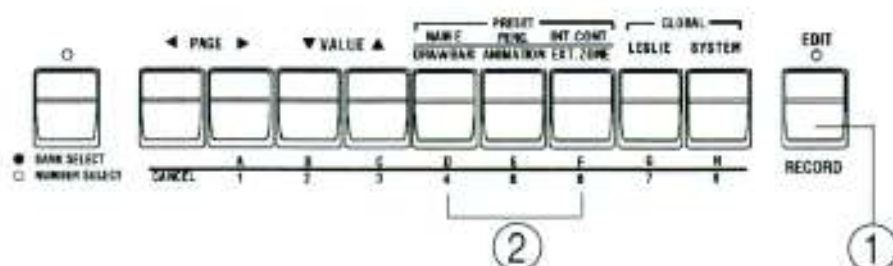
※ユーティリティはシステム・パラメータエディットモードの中にあります。

プリセットの設定

プリセットパラメータ

プリセットパラメータはプリセットの名前、オルガン音色、オルガンのコントロール、外部機器コントロール (MIDI OUT) に関する各種の設定がパラメータ化され1つのプリセットに記憶されています。プリセットを切り換えると、瞬時に各種のパラメータを切り換えることができます。このパラメータの設定を変更することをパラメータエディットと呼び、プリセットごとに記憶させることができます。

プリセットパラメータのエディット方法



1. ①EDITスイッチを押すとLEDが点灯します。ディスプレイ表示が、エディットモードに変わります。エディットモードではプリセットスイッチが、スイッチ上部の印刷の機能に切り換わります。

**Select
EDIT PARAMETER**

2. エディットしたいパラメータのグループを、パラメータスイッチの②パラメータグループスイッチで選びます。

NAME	— プリセットに名前をつけます。
DRAWBAR	— ドローバーレジストレーションなどドローバーサウンドに関する設定をします。
PERC.	— パーカッションの設定をします。
ANIMATION	— ビブラート、レスリーなどのエフェクトを設定します。
INT.CONT.	— スプリット、バンドレングスなどのエフェクトを設定します。
EXT.ZONE	— MIDI OUT ゾーン・コントロールを設定します。

②PRE 4～6 スイッチは同じスイッチを押すことで上下2段のパラメータグループが切り換わります。

※プリセットパラメータのエディットからグローバルパラメータ・エディット (レスリーシステム) への移行はできません。

ディスプレイ画面が、プリセットパラメータエディットの画面に切り換わります。

P11 DB VOICING
UM B3-TYPE

[P11] はエディット# (ナンバー) を示します。

3. ③◀PAGE▶スイッチによりパラメータを選び、④▼VALUE▲スイッチで設定を変更させます。
4. ①EDITスイッチを押すとLEDが消灯し、ディスプレイ表示がプレイモードに戻ります。

A-1.JIMMY
L#1 UM ■■■

ディスプレイのA-1のすぐ後ろの [.] はプリセットエディットモードでパラメータの設定の一部、または全部が変更されたとき表示されます。

- ※ 1. レコードをしないで電源を切ったり、プリセットスイッチを押すと変更したパラメータ内容は変更する前のパラメータに戻ってしまいます。
- ※ 2. レコードの方法はプリセットのレコードの項をご覧ください。

■プリセットネーム (PRESET NAME) ■

プリセットに名前をつけます。

エディット# P1
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ

P1 PRESET NAME
A-1 JIMMY 1

◀PAGE▶スイッチによって文字を入力する位置にアンダーバーを移動し、▼VALUE▲スイッチによって入力する文字を選択します。

入力出来る文字数は最大10文字で、大文字アルファベット、小文字アルファベット、数字、* # & - の順に表示されます。

PAGE▶スイッチによってアンダーバーが10文字を越えると、P2のエディット画面に移行します。

機能名	値の範囲	エディット#
PRESET NAME	ABCDEFGHIJKLM	P1
	NOPQRSTUVWXYZ	
	abcdefghijklm	
	nopqrstuvwxyz	
	0123456789	
	*#&-	

※CANCELは名前の変更ができません。

ドローバー

■ドローバーレジストレーション (DRAWBAR REGISTRATION) ■

ドローバーのレジストレーションを設定します。

●アッパーパートの設定

エディット# P2
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×2
 (あるいはDRAWBAR SELECT UPPERスイッチ)

P2 DB REGIST1
UM 88800000

左から順に16',5-1/3',8',4',2-2/3',2',1-3/5',1-1/3',1'のレジストレーションの設定値が表示されます。本体のドローバーを動かしてレジストレーションを設定します。

●ロワーバートの設定

エディット# P3

- 操作手順 1. EDITスイッチ
2. NAME/DRAWBARスイッチ×3 (あるいはDRAWBAR SELECT LOWERスイッチ)

P3 DB REGIST2
LM 858000000

左から順に16',5-1/3',8',4',2-2/3',2',1-3/5',1-1/3',1'のレジストレーションの設定値が表示されます。本体のドロワーを動かして、レジストレーションを設定します。

●ペダルバートの設定

エディット# P4

- 操作手順 1. EDITスイッチ
2. NAME/DRAWBARスイッチ×4 (あるいはDRAWBAR SELECT PEDALスイッチ)

P4 DB REGIST3
PK 86

左から順に16',8'のレジストレーションの設定値が表示されます。本体のドロワーを動かして、レジストレーションを設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
DRAWBAR REGIST	0~8	P2, P3, P4

■ドローバーアタック&キークリック■

ドローバーのアタック（音の立ち上がり）の速さ及びキークリック音の大きさを設定します。

●アップパートの設定

エディット# P5
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5

P5 DB ATTACK1
UM NORMAL CLICK

●ロワーパートの設定

エディット# P6
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ

P6 DB ATTACK2
LM NORMAL CLICK

●ペダルパートの設定

エディット# P7
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×2

P7 DB ATTACK3
PK NORMAL CLICK

▼VALUE▲スイッチによって、ドローバーアタック&キークリックの種類をSLOW ATTACK（音の立ち上がりが遅い）、NO CLICK（キークリック音がない）、SOFT CLICK（小さいキークリック音）、NORMAL CLICK（標準のキークリック音）、MAX CLICK（最も大きいキークリック音）の中から選択します。

機能名	値の範囲	エディット#
DB ATTACK	SLOW ATTACK	P5, P6, P7
	NO CLICK	
	SOFT CLICK	
	NORMAL CLICK	
	MAX CLICK	

■ドローバーサスティン (DRAWBAR SUSTAIN) ■

鍵盤から指をはなしたときの余韻 (サスティン) の長さを設定します。

●アッパーパートの設定

エディット# P8
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×3

P8 DB SUSTAIN1
UM OFF

●ロワーパートの設定

エディット# P9
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×4

P9 DB SUSTAIN2
LM OFF

●ペダルパートの設定

エディット# P10
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×5

P10 DB SUSTAIN3
PK OFF

▼VALUE▲スイッチによって、ドローバーサスティンの種類をOFF (サスティンがない)、SHORT (短いサスティン)、MID (標準のサスティン)、LONG (長いサスティン) の中から選択します。

機能名	値の範囲	エディット#
DB SUSTAIN	OFF	P8, P9, P10
	SHORT	
	MID	
	LONG	

■ドローバーボイス (DRAWBAR VOICE) ■

ドローバーの音色モードを選択します。

●アッパーパートの設定

エディット# P11
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×6

P11 DB VOICING1
UM B3-TYPE

●ロワーパートの設定

エディット# P12
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×7

P12 DB VOICING2
LM B3-TYPE

▼VALUE▲スイッチによって、ドローバーの音色モードを伝統的なBタイプの音源 (B3-TYPE)、透明感のあるサイン波の音源 (MELLOW)、及びより明るさを帯びた音源 (BRITE)の中から選択します。

機能名	値の範囲	エディット#
DB TYPE	B3-TYPE	P11, P12
	MELLOW	
	BRITE	

●ペダルパートの設定

エディット# P13
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×8

P13 DB VOICING3
PK NORMAL

▼VALUE▲スイッチによって、ドローバーの音色モードを通常のペダル音色 (NORMAL)、及びよりやわらかいペダル音色 (MUTED)の中から選択します。

機能名	値の範囲	エディット#
DB TYPE	NORMAL	P13
	MUTED	

■ドローバーフォールドバック■

B3-TYPEの音源を選択している場合に、ドローバーの低域及び高域の設定範囲の音を繰り返します。

●アッパーパートの設定

エディット# P14
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×9

P14 DB FOLDBACK1
UM LOW NOTE 2C

エディット# P15
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×10

P15 DB FOLDBACK2
UM HIGH NOTE 4G

●ロワーパートの設定

エディット# P16
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×11

P16 DB FOLDBACK3
LM LOW NOTE 2C

エディット# P17
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE▶スイッチ×12

P17 DB FOLDBACK4
LM HIGH NOTE 4G

●低域の設定

16'の最低域1オクターブの設定範囲の音をオクターブ上の音程で繰り返します。

▼VALUE▲スイッチによって、1C~2Cの範囲で設定値を選択します。

機能名	値の範囲	エディット#
DB FOLDBACK LO	1C~2C	P14, P16

●高域の設定

1'の最高域1オクターブ半の設定範囲の音をオクターブ下の音程で繰り返します。
同時に異なるフィート律のドローパー（2-2/3'以上のドローパー）の同一音程範囲も繰り返されます。

▼VALUE▲スイッチによって、4G~5Cの範囲で設定値を選択します。

機能名	値の範囲	エディット#
DB FOLDBACK HI	4G~5C	P15, P17

パーカッション

■パーカッションディケイ■

パーカッションの減衰時間を設定します。

●パーカッションディケイ スロースピード

エディット# P18
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ

**P18 PERC. PARAM1
 DECAY S_SPD. 8**

▼VALUE▲スイッチによって、パーカッションスロー時（PERCUSSION FASTスイッチがOFFの時）のセカンドパーカッション及びサードパーカッションの減衰時間を1～8の範囲で設定します。

値を大きくするほど、パーカッションの減衰時間が遅くなります。

●パーカッションディケイ ファーストスピード

エディット# P19
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ

**P19 PERC. PARAM2
 DECAY F_SPD. 3**

▼VALUE▲スイッチによって、パーカッションファースト時（PERCUSSION FASTスイッチがONの時）のセカンドパーカッション及びサードパーカッションの減衰時間を1～8の範囲で設定します。

値を大きくするほど、パーカッションの減衰時間が遅くなります。

※スロースピードの設定よりもファーストスピードの設定の方が大きい場合は、スローとファーストのスイッチの機能が逆になります。

機能名	値の範囲	エディット#
PERCUSSION DECAY	1～8	P18, P19

■パーカッションレベル■

パーカッションの音量を調節します。

●パーカッションレベル ノーマル

エディット# P20
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×2

**P20 PERC. PARAM3
 LEVEL NORM. 11**

▼VALUE▲スイッチによって、パーカッションノーマル時（PERCUSSION SOFTスイッチがOFFの時）のセカンドパーカッション及びサードパーカッションの音量を1～16の範囲で調節します。

値を大きくするほど、パーカッションの音量が大きくなります。

●パーカッションレベル ソフト

エディット# P21
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×3

**P21 PERC. PARAM4
 LEVEL SOFT 8**

▼VALUE▲スイッチによって、パーカッションソフト時（PERCUSSION SOFTスイッチがONの時）のセカンドパーカッション及びサードパーカッションの音量を1～16の範囲で調節します。

値を大きくするほど、パーカッションの音量が大きくなります。

※ノーマルの設定よりもソフトの設定の方が大きい場合は、ノーマルとソフトのスイッチの機能が逆になります。

機能名	値の範囲	エディット#
PERCUSSION LEVEL	1～16	P20, P21

■パーカッションタッチ■

パーカッションのタッチを設定します。

エディット# P22
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×4

**P22 PERC. PARAM5
 TOUCH ON**

▼VALUE▲スイッチによって、レガートで鍵盤を弾いた場合にパーカッション効果を出す (OFF) か、出さない (ON) かを設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
PERCUSSION TOUCH	ON, OFF	P22

■パーカッションベロシティ■

パーカッションのベロシティを設定します。

エディット# P23
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×5

**P23 PERC. PARAM6
 VELOCITY OFF**

▼VALUE▲スイッチによって、鍵盤を弾く強さ (速度: ベロシティ) によりパーカッションの音量をコントロールする (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
PERCUSSION VELOCITY	ON, OFF	P23

■パーカッション ドローパーキャンセル■

パーカッションがONの時のドローパーキャンセルを設定します。
 トーンホイール方式のハモンドオルガンは、独立発振方式によってドローパーの音色を作り出し
 ており、パーカッション専用の音源を持っていませんでした。しかしパーカッションの音色を作
 り出すために、パーカッションがONになったときには1'の音色をキャンセルし、この回路をパー
 カッションに充当する構造になっていました。このトーンホイールオルガン特有の機能を再現す
 るものです。

エディット# P24
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×6

P24 PERC. PARAM7
DB CANCEL ON

▼VALUE▲スイッチによって、セカンドパーカッションあるいはサードパーカッションがONの
 場合ドローパーの1'の音色をキャンセルする (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
DB CANCEL	ON, OFF	P24

■パーカッション ドローパーレベル■

パーカッションがONの時のドローパーレベルを設定します。
 B-3等の機種ではパーカッションを動作させると、ドローパーの音量はわずかに小さくなりま
 す。この機能を再現するものです。

エディット# P25
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×7

P25 PERC. PARAM8
DB LEVEL -3db

▼VALUE▲スイッチによって、セカンドパーカッションあるいはサードパーカッションがONの
 場合ドローパーの音量を少し小さくする (-3db) か、ドローパーの音量を変化させない
 (0db) かを設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
DB LEVEL	-3db, 0db	P25

■パーカッションキートラック■

パーカッションのキートラックを設定します。

エディット# P26
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×8

**P26 PERC. PARAM9
 KEY TRACKING ON**

▼VALUE▲スイッチによって、鍵盤の高音域になるほどセカンドパーカッション及びサードパーカッションの音量を小さくする（ON）か、音量を変化させない（OFF）かを設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
KEY TRACK	ON, OFF	P26

アニメーション

■ビブラートスピード■

ビブラートの速さを選択します。

エディット# P27
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ×2

**P27 VIBRATO
 SPEED NORMAL**

▼VALUE▲スイッチによって、ビブラートの速さをSLOW（最も遅いビブラート）、MID（少し遅いビブラート）、NORMAL（標準のビブラート）、MIDFAST（少し速いビブラート）、FAST（最も速いビブラート）の中から選択します。

機能名	値の範囲	エディット#
VIBRATO SPEED	SLOW	P27
	MID	
	NORMAL	
	MIDFAST	
	FAST	

■レスリープリセット■

デジタルレスリーのプリセットを選択します。

レスリープリセットのパラメータは、グローバルエディットのレスリーエディットで設定します。

エディット# P28
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ

**P28 LESLIE1
 PRESET L#1**

▼VALUE▲スイッチによって、レスリーの種類をプリセットナンバーL#1～L#5の中から選択します。

機能名	値の範囲	エディット#
LESLIE PRESET	L#1～L#5	P28

■リバーブパラメータ1 (モード) ■

オルガン全体にかかるリバーブ (残響効果) のモードを選択します。

エディット# P29
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×2

P29 REVERB1
MODE LIVE

▼VALUE▲スイッチによって、リバーブのモードを
 ROOM (通常の部屋の音場をシミュレートした最も短い残響)
 LIVE (ライブスタジオの音場をシミュレートした残響)
 HALL (ホールの音場をシミュレートした長い残響)
 CHURCH (教会の音場をシミュレートした最も長い残響)
 の中から選択します。

機能名	値の範囲	エディット#
REVERB 1 MODE	ROOM	P29
	LIVE	
	HALL	
	CHURCH	

■リバーブパラメータ2 (レベル) ■

オルガン全体にかかるリバーブ (残響効果) のレベルを設定します。

エディット# P30
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×3

P30 REVERB2
LEVEL 0

▼VALUE▲スイッチまたはREVERBつまみによって、リバーブのレベルを0~15の範囲で設定
 します。値を大きくするほど、残響音が大きくなります。

機能名	値の範囲	エディット#
REVERB 2 LEVEL	0~15	P30

■オーバードライブ■

アンプやレスリーに対して入力オーバー気味のダイナミックな音の効果を作ります。

エディット# P31
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×4

P31 OVERDRIVE
LEVEL 0

▼VALUE▲スイッチまたはOVER DRIVEつまみによって、オーバードライブのレベルを0～15の範囲で設定します。値を大きくするほど、オーバードライブ効果が大きくなります。

機能名	値の範囲	エディット#
OVERDRIVE LEVEL	0～15	P31

■トレブルコントロール■

高音域（トレブル）の周波数成分レベルを増減させて、音質を変化させます。

エディット# P32
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×5

P32 TREBLE
5

▼VALUE▲スイッチによって、高音域の周波数成分レベルを1～6の範囲で設定します。値を小さくするほど、高音域の周波数成分レベルが減衰し音色がやわらかくなります。

機能名	値の範囲	エディット#
TREBLE	1～6	P32

■フェイズコントロール■

フェイズコントロールを設定します。

エディット# P33
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×8

**P33 OSCILLATOR
 PHASE CNT. ON**

▼VALUE▲スイッチによって、ON/OFFを設定します。

- ON : トーンホイールの独立発振器のように、位相が合った波形が得られます。
 これは常時発振している発振器に、キーオン時に信号ラインをスイッチングすることになり、
 ノイズが発生する可能性があります。
- OFF : キーオンと同時に発振が開始するため、位相の合った波形は得られません。
 キーオン時のノイズがなく、なめらかな発音が得られます。

機能名	値の範囲	エディット#
PHASE CONTROL	ON, OFF	P33

インターナル・コントロール

■スプリットポイント■

鍵盤データを2つに分ける境目（スプリットポイント）を設定します。

エディット# P34
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ

P34 SPLIT1
SPLIT POINT 2B

鍵盤データを2つに分ける境目を左の領域の上限のキーナンバーで設定します。

▼VALUE▲スイッチによって、1C~6Cの範囲で設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
SPLIT POINT	1C~6C	P34

■スプリットモード■

スプリットポイントで分けられた左右の領域に鍵盤を割り当てます。

エディット# P35
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ

P35 SPLIT2
MODE UM+LM

▼VALUE▲スイッチによって、スプリットポイントで分けられた左右の領域の鍵盤をUM + LM, UM + PK, LM + PKに設定します。

※設定された音色に割り当てられたMIDIチャンネルで、MIDIデータの送受信が有効となります。

機能名	値の範囲	エディット#
SPLIT MODE	UM + LM	P35
	UM + PK	
	LM + PK	

UM：アップーマニュアル

LM：ロウーマニュアル

PK：ペダルキーボード

■ローオクターブ■

スプリットポイントで分けられた左の領域の音程をオクターブアップします。

※スプリットがOFFの時に、ローパートに割り当てられたMIDIチャンネルの音程がオクターブアップします。

エディット# P36
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×2

**P36 LM OCTAVE
 OCTAVE UP 0**

▼VALUE▲スイッチによって、スプリットポイントで分けられた左の領域の音程を0~2の範囲でオクターブアップします。

機能名	値の範囲	エディット#
LOWER OCTAVE	0~2	P36

■ベンドレングス■

ピッチベンダーによりピッチ（音の高さ）を変化させたときの最大変化幅を設定します。

●アッパーパートの設定

エディット# P37
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×3

**P37 BENDLENGTH1
 UM 1**

●ローパートの設定

エディット# P38
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×4

**P38 BENDLENGTH2
 LM 1**

●ペダルパートの設定

エディット# P39
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×5

P39 BENDLENGTH3
PK 1

▼VALUE▲スイッチによって、ピッチベンダーによりピッチを変化させたときの最大変化幅を0~12の範囲で設定します。値は12で1オクターブ変化し、0にするとピッチは変化しません。

機能名	値の範囲	エディット#
BENDLENGTH	0~12	P37, P38, P39

■モジュレーションモード■

モジュレーションホイールに割り当てるモードを選択します。

エディット# P40
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×5

P40 MOD. MODE
OFF

▼VALUE▲スイッチによって、モジュレーションホイールに割り当てるモードをOFF（割り当てない）、LES S/F（レスリー スロー/ファースト）、及びOVERDRIVE（オーバードライブ）の中から選択します。

機能名	値の範囲	エディット#
MODULATION MODE	OFF	P40
	LES S/F	
	OVERDRIVE	

■オルガンゾーンキーマップ■

オルガン内部の音源を鳴らすための鍵盤の演奏範囲を設定します。

●オルガンゾーンキーマップロー

エディット# P41

- 操作手順
1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×7

P41 ORG.ZONE-1
KEYMAP LOW 1C

▼VALUE▲スイッチによって、オルガン内部の音源を鳴らすための下限のキーナンバーを1C～6Cの範囲で設定します。

●オルガンゾーンキーマップハイ

エディット# P42

- 操作手順
1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×8

P42 ORG.ZONE-2
KEYMAP HI 6C

▼VALUE▲スイッチによって、オルガン内部の音源を鳴らすための上限のキーナンバーを1C～6Cの範囲で設定します。

※ アッパー、ロー及びペダルに割り当てられたMIDIチャンネルについては、このオルガンゾーンキーマップで設定された範囲でノートデータが送受信されます。

機能名	値の範囲	エディット#
ORGAN ZONE KEYMAP	1C～6C	P41, P42

エクスターナル・コントロール

■ゾーンチャンネル■

外部音源を鳴らすためのゾーン1及びゾーン2のMIDIチャンネルを設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P43
操作手順 1. EDITスイッチ
2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2

P43 ZONE1-1
CHANNEL 1

●ゾーン2の設定

エディット# P56
操作手順 1. EDITスイッチ
2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3

P56 ZONE2-1
CHANNEL 1

▼VALUE▲スイッチによって、外部音源を鳴らすためのゾーン1及びゾーン2のMIDIチャンネルを1~16、OFFの範囲で設定します。値をOFFにすると、MIDIデータは送信しません。なお、ゾーン1、ゾーン2、アッパー、ロー及びペダルを同じMIDIチャンネルに設定すると、MIDIデータが正しく送信されないことがあります。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE CHANNEL	1~16, OFF	P43, P56

■ゾーンプログラムナンバー■

ゾーン1及びゾーン2のプログラムナンバーを設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P44
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ

**P44 ZONE1-2
 PROGRAM# 0**

●ゾーン2の設定

エディット# P57
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ

**P57 ZONE2-2
 PROGRAM# 0**

▼VALUE▲スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2のプログラムナンバーを0~127の範囲で設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE PROGRAM NUMBER	0~127	P44, P57

■ゾーンバンクナンバー MSB ■

ゾーン1及びゾーン2のバンクナンバーMSBを設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P45
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×2

P45 ZONE1-3
BANK# MSB 0

●ゾーン2の設定

エディット# P58
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×2

P58 ZONE2-3
BANK# MSB 0

▼VALUE▲スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2のバンクナンバーMSBを0～127の範囲で設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE BANK NUMBER MSB	0～127	P45, P58

■ゾーンバンクナンバー LSB ■

ゾーン1及びゾーン2のバンクナンバーLSBを設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P46
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×3

P46 ZONE1-4
BANK# LSB 0

●ゾーン2の設定

エディット# P58
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×2

P59 ZONE2-4
BANK# LSB 0

▼VALUE▲スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2のバンクナンバーLSBを0～127の範囲で設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE BANK NUMBER LSB	0～127	P46, P59

■ゾーンキーマップロー■

ゾーン1及びゾーン2の鍵盤の演奏範囲の下限を設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P47
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×4

**P47 ZONE1-5
 KEY MAP LO 1C**

●ゾーン2の設定

エディット# P60
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×4

**P60 ZONE2-5
 KEY MAP LO 1C**

▼VALUE▲スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2の下限のキーナンバーを1C～6Cの範囲で設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE KEY MAP LOW	1C～6C	P47, P60

■ゾーンキーマップハイ■

ゾーン1及びゾーン2の鍵盤の演奏範囲の上限を設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P48
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×5

**P48 ZONE1-6
 KEY MAP HI 6C**

●ゾーン2の設定

エディット# P61
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×5

**P61 ZONE2-6
 KEY MAP HI 6C**

▼VALUE▲スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2の上限のキーナンバーを1C~6Cの範囲で設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE KEY MAP HIGH	1C~6C	P48, P61

■ゾーンキーオクターブ■

ゾーン1及びゾーン2の音程をオクターブ単位で設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P49
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×6

P49 ZONE1-7
KEY OCTAVE 0

●ゾーン2の設定

エディット# P62
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×6

P62 ZONE2-7
KEY OCTAVE 0

▼VALUE▲スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2の音程を-4～+4の範囲で設定します。
 値はオクターブ単位で変化します。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE KEY OCTAVE	-4～+4	P49, P62

■ゾーンボリューム最大■

ゾーン1及びゾーン2のエキスペッションペダルで送信する音量の最大値を設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P50
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×7

P50 ZONE1-8
VOLUME MAX 127

●ゾーン2の設定

エディット# P63
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×7

P63 ZONE2-8
VOLUME MAX 127

▼VALUE▲スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2のエクスペッションペダルで送信する音量の最大値を64～127の範囲で設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE VOLUME MAX	64～127	P50, P63

■ゾーンボリューム最小■

ゾーン1及びゾーン2のエクスペッションペダルで送信する音量の最小値を設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P51
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×8

P51 ZONE1-9
VOLUME MIN 0

●ゾーン2の設定

エディット# P64
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×8

P64 ZONE2-9
VOLUME MIN 0

▼VALUE▲スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2のエクスペッションペダルで送信する音量の最小値を0～64の範囲で設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE VOLUME MIN	0～64	P51, P64

■ゾーンベロシティカーブ■

ゾーン1及びゾーン2のベロシティカーブを設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P52
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×9

**P52 ZONE1-10
 VELOCITY CURVE 1**

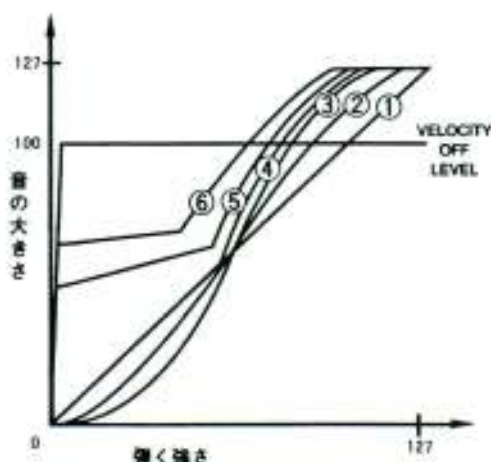
●ゾーン2の設定

エディット# P65
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×9

**P65 ZONE2-10
 VELOCITY CURVE 1**

▼VALUE▲スイッチによって、鍵盤を弾く強さ（速度：ベロシティ）により音量及び音質を変化させるカーブの種類をOFF、CURVE1～CURVE6の中から選択します（別表参照）。
 値をOFFにすると、鍵盤を弾く強さに関わらずベロシティは100に固定されます。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE VELOCITY CURVE	OFF, CURVE1～CURVE6	P52, P65



- ①ピアノのようなダイナミックレンジの広い音色に適しています。
- ②から④になるほどタッチが軽くなります。
- ⑤、⑥は、弱いタッチのときのばらつきがないので、ストリングスのような持続音系に適しています。

■ゾーンベンダースイッチ■

ゾーン1及びゾーン2のベンダースイッチを設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P53
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT/EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×10

P53 ZONE1-11
BENDER ON

●ゾーン2の設定

エディット# P66
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT/EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×10

P66 ZONE2-11
BENDER ON

▼VALUE▲スイッチによって、ピッチベンダーによるMIDIデータを送信する (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE BENDER SWITCH	ON, OFF	P53, P66

■ゾーンモジュレーションスイッチ■

ゾーン1及びゾーン2のモジュレーションスイッチを設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P54
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT/EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×11

P54 ZONE1-12
MODULATION ON

●ゾーン2の設定

エディット# P67
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×11

**P67 ZONE2-12
 MODULATION ON**

▼VALUE▲スイッチによって、モジュレーションホイールによるMIDIデータを送信する (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE MODULATION SWITCH	ON, OFF	P54, P67

■ゾーндアンパースイッチ■

ゾーン1及びゾーン2のダンパースイッチを設定します。

●ゾーン1の設定

エディット# P55
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×12

**P55 ZONE1-13
 DAMPER ON**

●ゾーン2の設定

エディット# P68
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×12

**P68 ZONE2-13
 DAMPER ON**

▼VALUE▲スイッチによって、ダンパーペダルによるMIDIデータを送信する (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

機能名	値の範囲	エディット#
ZONE DAMPER SWITCH	ON, OFF	P55, P68

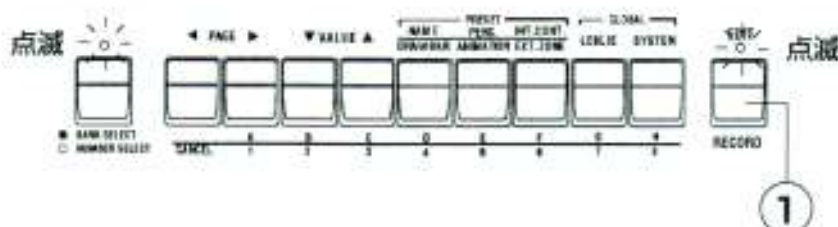
プリセットのレコード (プリセットの設定を保存する)

エディットしたプリセット・パラメータを保存しておくことができます。XK-2ではプリセット・パラメータを保存することをレコードするといいます。エディットしたプリセット・パラメータを保存しないまま、他のプリセットを選んだり、電源を切ると設定した内容が消えてしまいます。エディットした設定を記憶しておきたい場合は必ずレコードしてください。このレコードが必要なのはプリセット・パラメータの設定時で、グローバル・パラメータは設定時の値がそのまま記憶されます。

■プリセット・パラメータをレコードする

エディットしたプリセットはどのプリセットへもレコードできます。エディットモードを抜けて、プレイモードで行います。ただし、キャンセルへのレコードはできません。

●レコードの操作



1. プレイモードで①EDITスイッチを押し続けるとBANK SELECTとEDITのLEDが同時に点滅し、レコードモードに入ります。ディスプレイがレコードの画面に変わります。

A-1 PRESET REC.
Select BANK

A-1は現在のプリセット#を示しています

2. プリセットのバンクをPRESETスイッチのA~Hで選びます。
BANK SELECTのLEDが消灯し、ディスプレイがプリセットナンバー選択の画面に切り換わります。

B-1 PRESET REC.
Select NUMBER

B-1のBは選択されたプリセットバンクを示しています

3. プリセットのナンバーをPRESETスイッチの1~8で選びます。
ディスプレイがレコード確認の画面に切り換わります。

**B-3 PRESET REC.
Are you sure?(▲)**

B-3は保存先のプリセットを示しています。

4. VALUE▲スイッチを押すと保存が実行され、EDITのLEDが消灯します。
プリセットが保存先のプリセットに切り換わり、保存が終了しました。

**B-3 New PRESET
L#1 UM**

- ※レコードを中止する場合はEDITスイッチを押します。
- ※ディスプレイはレコードモードに入る前のプレイモードの画面に戻ります。

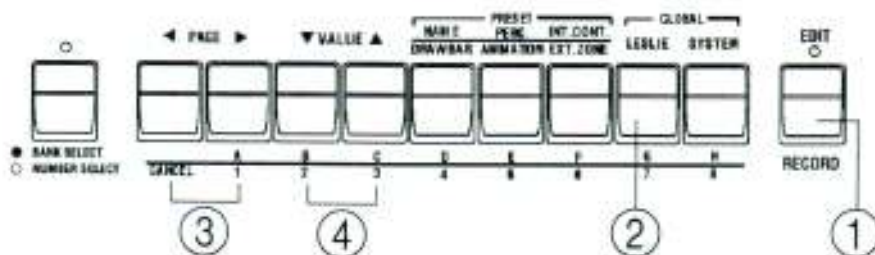
XK-2 全体の設定

グローバルパラメータは全体に関わる設定で、レスリーパラメータとシステムパラメータがあります。これらのパラメータのレコードはしませんが、電源を切っても設定値は保存されます。

レスリー・パラメータ

レスリー・プリセットは、ローターの回転速度などのレスリーに関するパラメータを設定し、好みの特性のレスリーを作るのと同じことです。L#1~5はレスリープリセット#（ナンバー）と呼ばび、5台のレスリーに番号を付け、用意したことになります。プリセットパラメータのレスリープリセット#を設定することで、どのレスリーと接続するかをプリセット単位で設定することができます。

レスリー・パラメータのエディット方法



- ①EDITスイッチを押すとLEDが点灯します。
ディスプレイ表示が、エディットモードに変わります。
エディットモードではプリセットスイッチが、スイッチ上部の印刷の機能に切り換わります。

**Select
EDIT PARAMETER**

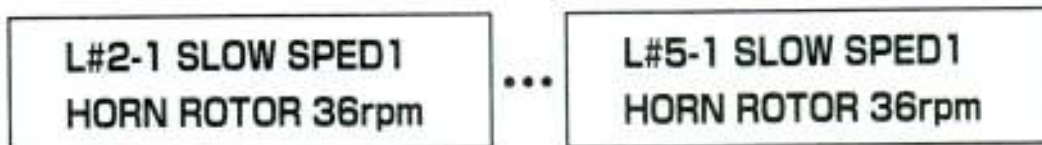
- ②LESLIEスイッチを押します。
ディスプレイ画面が、レスリーパラメータエディットの画面に切り換わります。

**L#1-1 SLOW SPED1
HORN ROTOR 36rpm**

[L#1] はレスリープリセットナンバーを示し、[-1] はレスリーパラメータナンバーを示します。

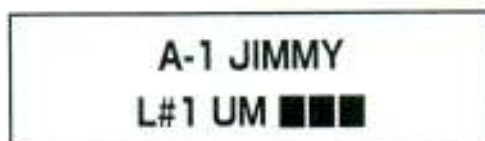
[L#1-1] をエディット#（ナンバー）と呼びます。

② LESLIEスイッチを再び押すことでエディットするレスリープリセット#を切り換えます。



3. ③ ◀PAGE▶スイッチによりパラメータを選び、④ ▼VALUE▲スイッチで設定を変更させます。

4. ① EDITスイッチを押すとLEDが消灯し、ディスプレイ表示がプレイモードに戻ります。

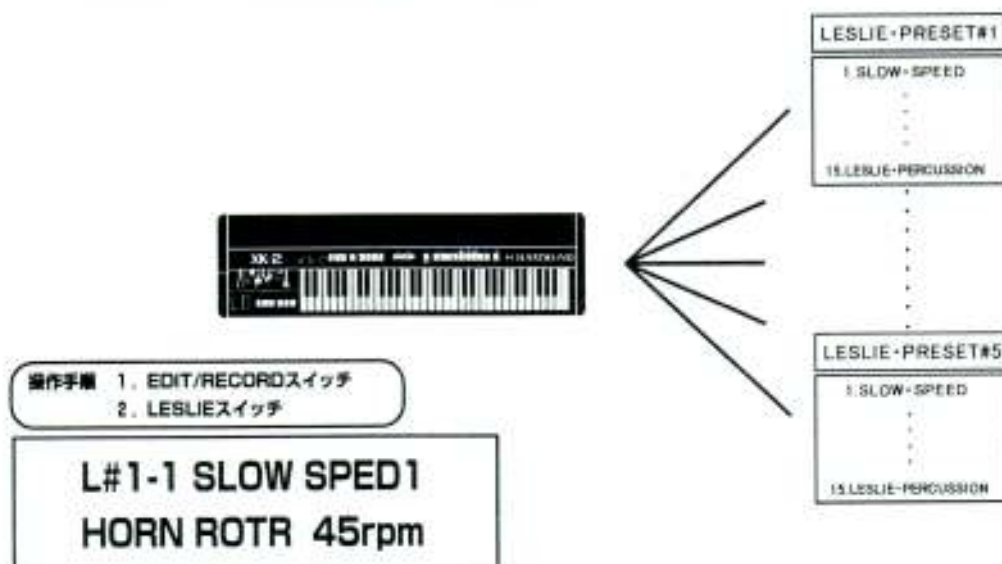


- ※1. レスリーパラメータは電源を切っても失われません。
- ※2. レスリーパラメータのエディットからプリセットパラメータエディットモードへの移行はできません。

レスリープリセット

■ レスリープリセット# (LESLIE PRESET NUMBER) ■

レスリープリセット#を選択します。(XK-2は5種類のレスリープリセットをつくることができます。1つのレスリープリセットには、SLOW・SPEEDからLESLIE・PERCUSSIONまでの15個のパラメータを設定することができます。



LESLIEスイッチを押すと、レスリープリセット#を変更できます。

機能名
LESLIE PRESET NUMBER

■スロースピード (SLOW SPEED) ■

ローターのスロー回転速度を設定します。

●ホーンローターの設定

エディット# L#1-1 (L#2-1~L#5-1)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ

L#1-1 SLOW SPED1
HORN ROTR 45rpm

▼VALUE▲スイッチによって、0と24~48rpm間で、3rpmずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
SLOW SPEED (HORN ROTOR)	0,24~48rpm (±3rpm/VALUE)

●バスローターの設定

エディット# L#1-2 (L#2-2~L#5-2)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×1

L#1-2 SLOW SPED2
BASS ROTR 48rpm

▼VALUE▲スイッチによって、0と24~48rpm間で、3rpmずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
SLOW SPEED (HORN ROTOR)	0,24~48rpm (±3rpm/VALUE)

■ファーストスピード (FAST SPEED) ■

ローターのファースト回転速度を設定します。

●ホーンローターの設定

エディット# L#1-3 (L#2-3~L#5-3)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×2

L#1-3 FAST SPED1
HORN ROTR 435rpm

▼VALUE▲スイッチによって、0と375~435rpm間で3rpmずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
FAST SPEED (HORN ROTOR)	0,375~435rpm (±3rpm/VALUE)

●バスローターの設定

エディット# L#1-4 (L#2-4~L#5-4)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×3

L#1-4 FAST SPED2
BASS ROTR 399rpm

▼VALUE▲スイッチによって、0と375~435rpm間で3rpmずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
FAST SPEED (BASS ROTOR)	0,375~435rpm (±3rpm/VALUE)

■ライズタイム (RISE TIME) ■

ローターがスロー回転からファースト回転に安定するまでの時間を設定します。

●ホーンローターの設定

エディット# L#1-5 (L#2-5~L#5-5)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×4

L#1-5 RISE TIME1
HORN ROTR 4.8s

▼VALUE▲スイッチによって、0.2~5.0s間で0.2sずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
RISE TIME (HORN ROTOR)	0.2~5.0s (±0.2s/VALUE)

●バスローターの設定

エディット# L#1-6 (L#2-6~L#5-6)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×5

L#1-6 RISE TIME2
BASS ROTR 10.0s

▼VALUE▲スイッチによって、0.5~12.5s間で0.5sずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
RISE TIME (BASS ROTOR)	0.5~12.5s (±0.5s/VALUE)

■フォールタイム (FALL TIME) ■

ローターがファースト回転からスロー回転に安定するまでの時間を設定します。

●ホーンローターの設定

エディット# L#1-7 (L#2-7~L#5-7)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGEトスイッチ×5

L#1-7 FALL TIME1
HORN RTOR 4.8s

▼VALUE▲スイッチによって、0.2~5.0s間で0.2sずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
FALL TIME (HORN ROTOR)	0.2~5.0s (±0.2s/VALUE)

●バスローターの設定

エディット# L#1-8 (L#2-8~L#5-8)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGEスイッチ×7

L#1-8 FALL TIME2
BASS RTOR 9.0s

▼VALUE▲スイッチによって、0.5~12.5s間で0.5sずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
FALL TIME (BASS ROTOR)	0.5~12.5s (±0.5s/VALUE)

■ブレーキタイム (BRAKE TIME) ■

ローターがファースト回転から停止するまでの時間を設定します。

●ホーンローターの設定

エディット# L#1-9 (L#2-9~L#5-9)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×8

L#1-9 BRK TIME1
HORN RTOR 1.2s

▼VALUE▲スイッチによって、0.2~5.0s間で0.2sずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
BRAKE TIME (HORN ROTOR)	0.2~5.0s (±0.2s/VALUE)

●バスローターの設定

エディット# L#1-10 (L#2-10~L#5-10)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×8

L#1-10 BRK TIME2
BASS RTOR 10.0s

▼VALUE▲スイッチによって、0.5~12.5s間で0.5sずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
BRAKE TIME (BASS ROTOR)	0.5~12.5s (±0.5s/VALUE)

■ボリュームバランス (VOLUME BALANCE) ■

ローターの音量バランスを設定します。

●ホーンローターの設定

エディット# L#1-11 (L#2-11~L#5-11)

- 操作手順
1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×1回

L#1-11 RTOR VOL1
HORN RTOR -12dB

▼VALUE▲スイッチによって、0～-12dB間で1dBずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
VOLUME BALANCE (HORN ROTOR)	0～-12dB (±1dB/VALUE)

●バスローターの設定

エディット# L#1-12 (L#2-12~L#5-12)

- 操作手順
1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGEスイッチ×1回

L#1-12 RTOR VOL2
BASS RTOR -12dB

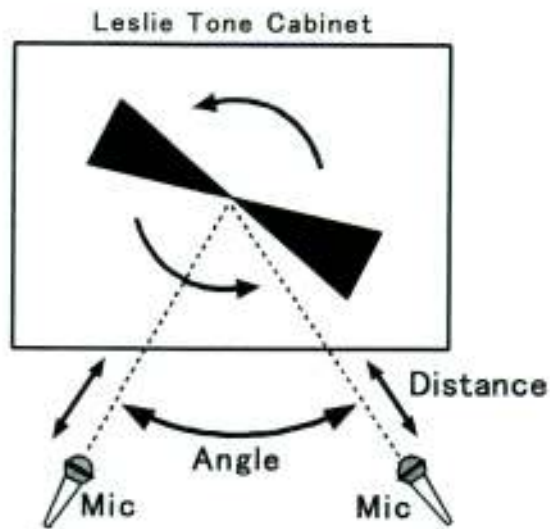
▼VALUE▲スイッチによって、0～-12dB間で1dbずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
VOLUME BALANCE (BASS ROTOR)	0～-12dB (±1dB/VALUE)

■マイクセッティング (MIC. SETTING) ■

マイクをセッティングするアングル (角度) とディスタンス (距離) を設定します。



●アングルの設定

エディット# L#1-13 (L#2-13~L#5-13)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×12

L#1-13 MIC. SET1
ANGLE 180°

▼VALUE▲スイッチによって、0~180° 間で30° ずつ設定できます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
MIC. SETTING (ANGLE)	0~180° (±30° / VALUE)

●ディスタンスの設定

エディット# L#1-14 (L#2-14~L#5-14)

操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
2. LESLIEスイッチ
3. PAGE▶スイッチ×13

L#1-14 MIC. SET2
DISTANCE 0.6m

▼VALUE▲スイッチによって、0.3~2.7m間で0.3mずつ設定することができます。

※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
MIC. SETTIG (DISTANCE)	0.3~2.7 (0.3m/VALUE)

■レスリーパーカッション (LESLIE PERCCUSION) ■

パーカッションサウンドをレスリーから出すかどうかを設定します。パーカッション音にレスリー効果をかける場合にON、かけない場合にOFFにします。

エディット# L#1-15 (L#2-15~L#5-15)

操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
2. LESLIEスイッチ
3. PAGE▶スイッチ×14

L#1-15 LES. PERC
ON

▼VALUE▲スイッチによって、ON/OFFを選択することができます。

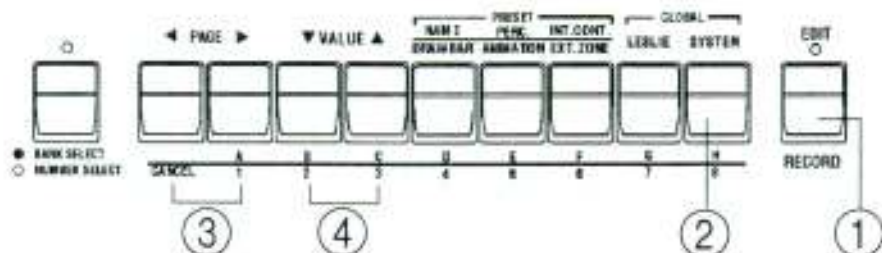
※この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

機能名	値の範囲
LESLIE PERCCUSION	ON
	OFF

システム・パラメータ

マスターチューン、トランスポーズやMIDIの設定などのシステム全体に関わる設定を行います。これらのパラメータのレコードはしませんが、電源を切っても設定値は保存されます。ただし、トランスポーズは初期値の0となります。

システムパラメータのエディット方法



- ①EDITスイッチを押すとLEDが点灯します。
ディスプレイ表示が、エディットモードに変わります。
エディットモードではプリセットスイッチが、スイッチ上部の印刷の機能に切り換わります。

Select
EDIT PARAMETER

- ②SYSTEMスイッチを押します。
ディスプレイ画面が、システムパラメータエディットの画面に切り換わります。

S1 MASTER TUNE
440Hz

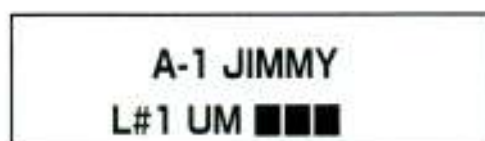
[S1] はエディットナンバーを示します。

- ②SYSTEMスイッチを再び押すことでエディットするエディット#がジャンプします。

S10 MIDI1
UM CHANNEL 1

もう1度SYSTEMスイッチを押すとユーティリティモードになります。SYSTEMスイッチを押す度にエディット#のジャンプを繰り返します。

3. ③◀PAGE▶スイッチによりパラメータを選び、④▼VALUE▲スイッチで設定を変更させます。
4. ①EDITスイッチを押すとLEDが消灯し、ディスプレイ表示がプレイモードに戻ります。



- ※ 1. システムパラメータは電源を切っても失われません。
- ※ 2. システムパラメータのエディットからプリセットパラメータエディットモードへの移行はできません。

■マスターチューン■

XK-2 全体の音の高さを調節します。

エディット# S1
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ

S1 MASTER TUNE
440Hz

▼VALUE▲スイッチによって、XK-2 全体の音の高さを430~450Hz（1Hz単位）の範囲で調節します。

工場出荷時は、440Hzに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
MASTER TUNE	430~450Hz	P43, P56

■チューンモード■

ハモンドオルガンB-3、C-3独特のチューンを設定します。

エディット# S2
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ

S2 TUNE MODE
B3-PITCH

▼VALUE▲スイッチによって、B-3、C-3独特のチューン（B3-PITCH）に設定するか、あるいは平均律（E-TEMPERA）に設定するかを選択します。

工場出荷時は、B3-PITCHに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
TUNE MODE	B3-PITCH	S2
	E-TEMPERA	

■トランスポーズ■

XK-2 全体を移調します。

エディット# S3 操作手順 1. EDITスイッチ 2. SYSTEMスイッチ 3. PAGE▶スイッチ×2
S3 TRANSPOSE 0

▼VALUE▲スイッチによって、XK-2 全体を-6~+6（半音単位）の範囲で移調します。工場出荷時は、0に設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
TRANSPOSE	-6~+6	S3

■ドローバーボリューム■

ドローバーの音量を調節します。

●アッパー・パートの設定

エディット# S4 操作手順 1. EDITスイッチ 2. SYSTEMスイッチ 3. PAGE▶スイッチ×3
S4 DB VOLUME1 UM 127

●ロワー・パートの設定

エディット# S5 操作手順 1. EDITスイッチ 2. SYSTEMスイッチ 3. PAGE▶スイッチ×4
S5 DB VOLUME2 LM 127

●ペダル・パートの設定

エディット# S6
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×5

S6 DB VOLUME3
PK 127

▼VALUE▲スイッチによって、ドロワーの音量を0~127の範囲で設定します。
 工場出荷時は、127に設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
DRAWBAR VOLUME	0~127	S4, S5, S6

■フットスイッチ■

フットスイッチの機能を設定します。

●フットスイッチ 1

エディット# S7
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×5

S7 FOOT SW.1
SELECT LES S/F

▼VALUE▲スイッチによって、フットスイッチの機能の割り当てをPの中から選択します。

機能名	値の範囲	エディット#
FOOT SWITCH 1	LES S/F	S7
	UM DAMPER	
	LM DAMPER	
	PRESET FW	
	OFF	

- ※PRESET FW (プリセットナンバーを一つずつ進める)
- ※OFF (フットスイッチに機能を割り当てない)

●フットスイッチ 2

エディット# S8
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×7

S8 FOOT SW.2
MODE1 PRESS ON

フットスイッチの極性を設定します。

▼VALUE▲スイッチによって、踏むとスイッチが入るタイプ (ON) か、あるいは踏むとスイッチが切れるタイプ (OFF) かを選択します。

工場出荷時は、ONに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
FOOT SWITCH 2 PRESS	ON, OFF	S8

●フットスイッチ 3

エディット# S9
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×8

S9 FOOT SW.3
MODE2 ALTERNATE

▼VALUE▲スイッチによって、フットスイッチの動作の設定を

ALTERNATE (スイッチを踏む度にON/OFFが切り換わる)

MOMENTARY (スイッチを踏んでいる間はON、離すとOFFになる)

の中から選択します。

工場出荷時は、ALTERNATEに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
FOOT SWITCH 3	ALTERNATE	S9
	MOMENTARY	

■ MIDI チャンネル ■

XK-2はアッパー、ロワー、ペダルの3パート・マルチティンバーを内蔵しています。
ここではそれぞれのMIDIチャンネルを設定します。

● アッパー・パートの設定

エディット# S10
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2

S10 MIDI1
UM CHANNEL 1

● ロワー・パートの設定

エディット# S11
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ

S11 MIDI2
LM CHANNEL 2

● ペダル・パートの設定

エディット# S12
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×2

S12 MIDI3
PK CHANNEL 3

▼VALUE▲スイッチによって、アッパー、ロワー、ペダルのMIDIチャンネルをOFF、1～16の範囲で設定します。値をOFFにすると、MIDIデータは送受信しません。
工場出荷時は、アッパー、ロワー、ペダルの順にそれぞれ1、2、3に設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
MIDI CHANNEL	1～16, OFF	S10, S11, S12

■ MIDI エクスプレッション・チャンネル ■

エクスプレッション・コントロール専用のMIDIチャンネルを設定します。

エディット# S13
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×3

**S13 MIDI4
 EXP. CTR INDIV.**

▼VALUE▲スイッチによって、エクスプレッション・コントロール専用のMIDIチャンネル INDIV. (マルチティンパーモードでアッパー、ロワー、ペダルのそれぞれにS10～S12で設定したMIDIチャンネルに対応し、個別にエクスプレッションがコントロール出来る)

CH.1～CH.16 (エクスプレッション専用のMIDIチャンネルを設定し、アッパー、ロワー、ペダルのエクスプレッションを同時にコントロール出来る)

の中から選択します。

工場出荷時は、INDIV.に設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
MIDI EXPRESSION CHANNEL	INDIV., CH.1～CH.16	S13

■ MIDI ローカル／オムニ／NRPN ■

ローカル、オムニ、NRPNのON/OFFを設定します。

● ローカル

エディット# S14
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×4

**S14 MIDI5
 LOCAL ON**

▼VALUE▲スイッチによって、ローカルのON/OFFを設定します。

値をOFFにすると、本体でのキーボード操作は出来なくなり、MIDI INで受信したデータによってのみ動作します。

工場出荷時は、ONに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
LOCAL	ON, OFF	S14

● オムニ

エディット# S15
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×5

S15 MIDI6
OMNI ON

▼VALUE▲スイッチによって、オムニのON/OFFを設定します。
 値をONにすると全てのMIDIチャンネルのデータを受信し、値をOFFにするとマスターとなる外部MIDI機器と同じMIDIチャンネルのデータのみを受信します。
 工場出荷時は、ONに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
OMNI	ON, OFF	S15

● NRPN

エディット# S16
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×6

S16 MIDI7
NRPN ON

XK-2は、必ずしもMIDIの標準的なコントロールナンバーに一致しないハモンドオルガン固有の機能を多く持っています。こうしたパーカッションやビブラート等のハモンドオルガン固有のスイッチを外部のMIDI機器に連動させるため、ハモンド独自の非標準のコントロールコードを各スイッチに割り当てており、これをNRPN（ノンレジスタードパラメータナンバー）といいます。

▼VALUE▲スイッチによって、NRPNの送受信をする（ON）か、しない（OFF）かを設定します。

工場出荷時は、ONに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
NRPN	ON, OFF	S16

■ MIDI コントロールナンバーの設定 ■

フットスイッチ/モジュレーション/エクスプレッション/レスリーで送信するMIDIのコントロールナンバーを設定します。

● フットスイッチ

エディット# S17
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×7

S17 MIDI8
FOOT SW CTR# 64

▼VALUE▲スイッチによって、フットスイッチのコントロールナンバーをOFFまたは0~127の範囲で設定します。工場出荷時は、#64に設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
FOOT SW. CONTROL#	OFF, 0~127	S17

● モジュレーション

エディット# S18
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×8

S18 MIDI9
MOD. CTR# 1

▼VALUE▲スイッチによって、モジュレーションのコントロールナンバーをOFFまたは0~127の範囲で設定します。

工場出荷時は、#1に設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
MODULATION CNTROL#	OFF, 0~127	S18

● **エクスプレッション**

エディット# S19
 操作手順 1. DEITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×9

S19 MIDI10
EXP. CTR# 7

▼VALUE▲スイッチによって、エクスプレッションのコントロールナンバーをOFFまたは0～127の範囲で設定します。工場出荷時は、#7に設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
EXP. CONTROL#	OFF, 0~127	S19

● **レスリー**

エディット# S20
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×10

S20 MIDI11
LES.S/F CTR# 92

▼VALUE▲スイッチによって、レスリー・スロー/ファーストのコントロールナンバーをOFFまたは0～127の範囲で設定します。工場出荷時は、#92に設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
LESLIE CONTROL#	OFF, 0~127	S20

■ MIDI ゲート ■

外部MIDI機器からの情報を送受信するか、しないかの設定をします。(プログラムチェンジ/ドローパーチェンジ/コントロールチェンジ/Txベンダー/Txモジュレーション/Rxプレス/Rxアフタータッチ)

● プログラムチェンジ

エディット# S21
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×11

S21 MIDI12
PRG. CHANGE ON

▼VALUE▲スイッチによって、プログラムチェンジ情報を送受信する (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

工場出荷時は、ONに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
PROGRAM CHANGE	ON, OFF	S21

● ドローパーチェンジ

エディット# S22
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×12

S22 MIDI13
DB CHANGE ON

▼VALUE▲スイッチによって、ドローパーのセッティングデータをMIDIで送受信する (ON) か、しない (OFF) かを設定します。工場出荷時は、ONに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
DRAWBAR CHANGE	ON, OFF	S22

●コントロールチェンジ

エディット# S23
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×13

S23 MIDI14
CTR. CHANGE ON

▼VALUE▲スイッチによって、コントロールチェンジをMIDIで送受信する (ON) が、しない (OFF) を設定します。工場出荷時は、ONに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
CONTROL CHANGE	ON, OFF	S23

●Tx (トランスミット) ベンダー

エディット# S24
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×14

S24 MIDI15
Tx BENDER ON

▼VALUE▲スイッチによって、ピッチベンダーをMIDIで送信する (ON) が、しない (OFF) を設定します。工場出荷時は、ONに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
Tx BENDER	ON, OFF	S24

●Tx (トランスミット) モジュレーション

エディット# S25
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×15

S25 MIDI16
Tx MOD. ON

▼VALUE▲スイッチによって、モジュレーションをMIDIで送信する (ON) が、しない (OFF) を設定します。工場出荷時は、ONに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
Tx MODULATION	ON, OFF	S25

● Rx (レシーブ) プレス

エディット# S26
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×16

S26 MIDI17
Rx BREATH OFF

▼VALUE▲スイッチによって、プレス・コントロールをMIDIで受信する (ON) が、しない (OFF) がを設定します。工場出荷時は、OFFに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
Rx BREATH	ON, OFF	S26

● Rx (レシーブ) アフタータッチ

エディット# S27
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×17

S27 MIDI18
Rx AFT OFF

▼VALUE▲スイッチによって、MIDIで受信したアフタータッチに割り当てる機能を設定します。工場出荷時は、OFFに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
Rx AFTER TOUCH	LES S/F	S27
	OVER DRIVE	
	BEND	
	OFF	

■ボリューム最大時の設定■

本体又はMIDIで受信したエクスプレッションが最大（127）時の音量を設定します。

エディット# S28
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×18

S28 MIDI19
VOLUME max. 127

▼VALUE▲スイッチによって、64～127の範囲で設定できます。
 工場出荷時は、127に設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
VOLUME max.	64～127	U28

■ボリューム最小時の設定■

本体又はMIDIで受信したエクスプレッションが最小（0）時の音量を設定します。

エディット# S29
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×18

S29 MIDI20
VOLUME min. 40

▼VALUE▲スイッチによって、0～64の範囲で設定できます。
 工場出荷時は、40に設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
VOLUME min.	0～64	S29

■ MIDI R x (レシーブ) トランスポーズ ■

MIDI INより受信したノート・データに、トランスポーズ(S3)をかけるかどうかを設定します。

エディット# S30
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×20

S30 MIDI21
Rx TRANSPOSE OFF

例えば本機とシーケンサをループ接続して、本機のLOCALをOFFにして使用する場合は、このパラメータをOFFにしておけばトランスポーズが二重にかかることはありません。外部のキーボードを本機の2段目、3段目の鍵盤として使用する場合にこのパラメータをONにしておけば、本機のトランスポーズを変更するだけで全てのパートを移調することが出来ます。

▼VALUE▲スイッチによって、ON/OFFを切り換えます。工場出荷時は、OFFに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
Rx TRANSPOSE	ON,OFF	S30

■ MIDI SOFT THRU (ソフトスルー) ■

MIDI INのデータをMIDI OUTから出力します。

エディット# S31
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×21

S31 MIDI22
SOFT THRU ON

▼VALUE▲スイッチによって、ON、OFFを切り換えます。ONでMIDI OUTされます。工場出荷時は、OFFに設定されています。

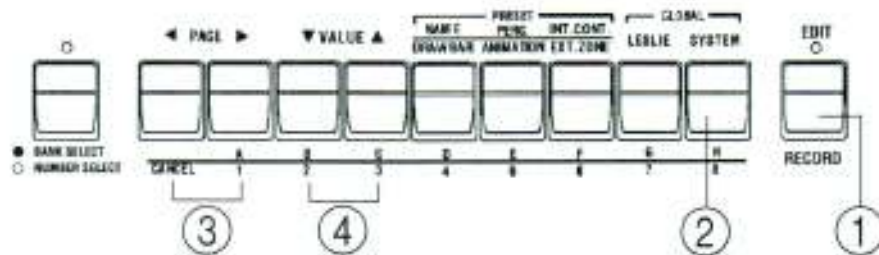
機能名	値の範囲	エディット#
SOFT THRU	ON, OFF	S31

ユーティリティ

ユーティリティはデモ演奏を聴いたり、XK-2を工場出荷時の設定に戻したり、プリセットの設定を他のプリセットにコピーしたりできる便利な機能のことです。XK-2は以下のような機能を持っています。

メモリー・ダンプ	XK-2のプリセットパラメータなどのデータをシーケンサーに記録できます
プリセット・コピー	プリセットの設定を他のプリセットへコピーします
プリセット・バック	プリセットナンバーを指定してプリセットの設定を工場出荷時に戻します
オールリセット	XK-2の全ての設定を工場出荷時の状態に戻します
レスリーリセット	レスリープリセットの設定を工場出荷時の状態に戻します
システムリセット	システムパラメータの設定を工場出荷時の状態に戻します
エクスペクション・モニタ	XK-2内部のエクスペクションレベルがモニタできます
デモソング・プレイ	XK-2にデモ演奏をさせることができます

ユーティリティを使うには



- ①EDITスイッチを押すとLEDが点灯します。
ディスプレイ表示が、エディットモードに変わります。
エディットモードではプリセットスイッチが、スイッチ上部の印刷の機能に切り換わります。

**Select
EDIT PARAMETER**

- ②SYSTEMスイッチを3回押します。
ディスプレイ画面が、ユーティリティモードの画面に切り換わります。

**U1 MEMORY DUMP1
ALL DATA OUT**

- ③もう1度SYSTEMスイッチを押すとシステムパラメータエディットモードになります。
SYSTEMスイッチを押す度にエディット#のジャンプを繰り返します。

3. ③ ◀PAGE▶ スイッチによりユーティリティ機能を選び、④ ▼VALUE▲ スイッチで機能をスタートさせます。
4. ① EDIT スイッチを押すとLEDが消灯し、ディスプレイ表示がプレイモードに戻ります。

A-1 JIMMY
L#1 UM ■■■■

- ※ 1. ユーティリティを使用した場合はその機能により、元のプリセット#に戻らない場合があります。
- ※ 2. ユーティリティからプリセットパラメータエディットモードへの移行はできません。

■メモリーダンプ (送信) ■

セットアップのデータを、MIDIを通して外部のMIDI機器にシステム・エクスクループで転送します。

XK-2の全パラメータ (プリセット、レスリー、システム) を転送します。

エディット# U1
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×3

**U1 MEMORY DUMP1
 ALL DATA OUT**

VALUE▲

**U1 MEMORY DUMP ?
 press VALUE(▲)**

外部のMIDI機器を「レコード」にしてスタートさせます。

VALUE▲

**MEMORY DUMP1
 Transmitting...**

データ転送中、ディスプレイには「Transmitting」と表示されます。

**MEMORY DUMP1
 Data Completed!**

転送が完了すると、「Data Completed!」と表示されディスプレイはメモリーダンプの初期画面に戻ります。

機能名	エディット#
MEMORY DUMP(ALL DATA OUT)	U1

■メモリーダンプ (受信) ■

保存されたセットアップデータを、MIDIを通して、外部のMIDI機器からシステム・エクスクルーシブでXK-2に転送します。



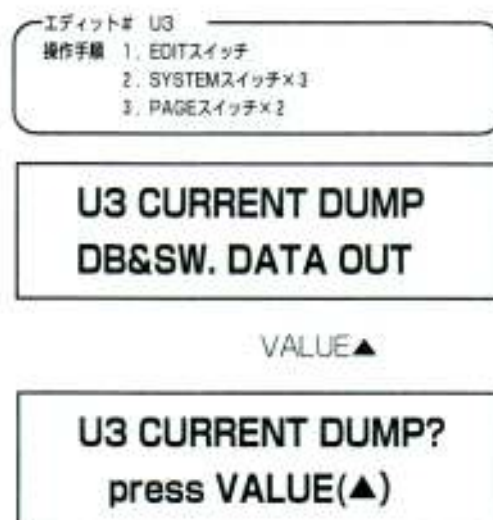
▼VALUE▲スイッチによって、メモリーダンプの受信をする (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

工場出荷時は、OFFに設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
MEMORY DUMP (RECEIVE)	ON, OFF	U2

■カレントダンプ (送信) ■

現在のドローパーセッティングとスイッチのパラメータを、外部のMIDI機器にシステム・エクスクルーシブで転送します。



外部のMIDI機器を「レコード」にしてスタートさせます。

VALUE▲



データ転送中。ディスプレイには「Transmittig」と表示されます。

**U3 CURRENT DUMP
Data Completed!**

転送が完了すると、「Data Completed!」と表示されディスプレイはカレントダンプの初期画面に戻ります。

機能名	エディット#
CURRENT DUMP	U3

■プリセット・コピー■

プリセット・データを他のプリセット・ナンバーに転送させることができます。

エディット# U4
操作手順 1. EDITスイッチ
2. SYSTEMスイッチ×1
1. PAGE▶スイッチ×3

**U4 PRESET COPY
CAN TO CAN**

(転送元) (転送先)

◀PAGE▶スイッチで左(転送元のプリセット・ナンバー)か右(転送先のプリセット・ナンバー)を選択してください。▼VALUE▲スイッチで希望のプリセット・ナンバーを選択してください。

PAGE▶スイッチ

**U4 PRESET COPY ?
press VALUE(▲)**

VALUE▲

**U4 PRESET COPY
Data Completed!**

機能名	値の範囲	エディット#
PRESET COPY	A-1 ~ H-8	U4

転送が完了すると、「Data Completed!」と表示されディスプレイはプリセット・コピーの初期画面に戻ります。

■プリセット・デフォルト■

エディットしたプリセット・データを、各プリセットごとに初期設定（工場出荷時）の状態に戻します。

エディット# U5
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×6

**U5 PRESET BACK
 to DEFALUT CAN**

▼VALUE▲スイッチによって、プリセット・ナンバーを選択します。

PAGE▶スイッチ

**U5 PRESET BACK ?
 press VALUE(▲)**

VALUE▲

**U5 PRESET BACK
 Data completed!**

転送が完了すると、「Data Completed!」と表示されディスプレイはプリセット・デフォルトの初期画面に戻ります。

機能名	エディット#
PRESET DEFALT	U5

リセット

リセットすることにより、XK-2 を初期設定（工場出荷時）の状態に戻すことができます。リセットプログラムはオール、プリセット、レスリー、システムの4種類のモードでリセットすることができます。

■オール・リセット■

全てのEDITしたデータが初期設定の状態に戻ります。

エディット# U6
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×3
 3. PAGE➡スイッチ×8

U6 RESET ALL
Press VALUE(▲)

VALUE▲

U6 Are you sure ?
press VALUE(▲)

VALUE▲

The B-3 World of
the HAMMOND XK-2

XK-2 ALL DATA
**** INITIALIZE ****

A-/ CANCEL
L#1 UM

機能名	エディット#
RESET ALL	U6

■プリセット・リセット■

PRESET EDITしたデータのみ初期設定の状態に戻ります。

エディット# U7
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×5

U7 RESET PRESET
 press VALUE(▲)

VALUE▲

U7 Are you sure?
 press VALUE(▲)

VALUE▲

XK-2 PRESET DATA
**** INITIALIZE ****

プリセット・データの初期化が終了すると、プリセット・リセットの初期画面に戻ります。

機能名	エディット#
RESET PRESET	U7

■レスリー・リセット■

LESLIE EDITしたデータのみ初期設定の状態に戻ります。

エディット# U8
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×10

U8 RESET LESLIE
 press VALUE(▲)

VALUE▲

U8 Are you sure?
 press VALUE(▲)

VALUE▲

XK-2 LESLIE DATA
**** INITIALIZE ****

レスリー・データの初期化が終了すると、レスリー・リセットの初期画面に戻ります。

■システム・リセット■

SYSTEM EDITしたデータのみ初期設定の状態に戻ります。

エディット# U9
操作手順 1. EDITスイッチ
2. SYSTEMスイッチ×3
3. PAGE▶スイッチ×11

U9 RESET SYSTEM
press VALUE(▲)

VALUE▲

U9 Are you sure?
press VALUE(▲)

VALUE▲

XK-2 SYSTEM DATA
**** INITIALIZE ****

システム・データの初期化が終了すると、システム・リセットの初期画面に戻ります。

機能名	エディット#
RESET SYSTEM	U9

※リセットを実行した時ノイズが出ることがあります。リセット実行時はXK-2のボリュームを下げてください。

ハードリセット

XK-2が操作を受け付けなくなった場合は、XK-2を再起動させます。
再起動の方法は、トップパネルにあるDRAWBAR SELECTの3つのスイッチ(PEDAL、LOWER、UPPER)を押しながら電源を入れてください。

■エクスプレッション・モニター■

XK-2の音源のエクスプレッション・レベルを表示します。他のMIDI機器をMIDI INに接続されているとき、エクスプレッション・データによるトラブルを回避するための機能です。

エディット# U10
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×12

**U10 EXPRESSION
 monitor : 127**

▼VALUE▲スイッチによって、0~127の範囲で設定できます。
 工場出荷時は、127に設定されています。

機能名	値の範囲	エディット#
EXP.MONITOR	0~127	U10

■デモ・ソング■

XK-2には、3曲のデモ・ソングが内蔵されています。

●プレイ

演奏が始まります。

エディット# U11
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×12

**U11 DEMO. SONG1
 PLAY OFF**

▼VALUE▲スイッチによって、PLAY ONにすると演奏が始まります。演奏を終了するときは
 ▼VALUE▲スイッチによって、PLAY OFFにします。

機能名	値の範囲	エディット#
PLAY DEMO SONG	ON, OFF	U11

●セレクト

曲を選択します。

エディット# U12
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×3
 3. PAGE▶スイッチ×14

U12 DEMO. SONG2
SELECT SONG 1

▼VALUE▲スイッチによって、SONG 1～3 を選択します。
 工場出荷時は、SONG 1 に設定されています。

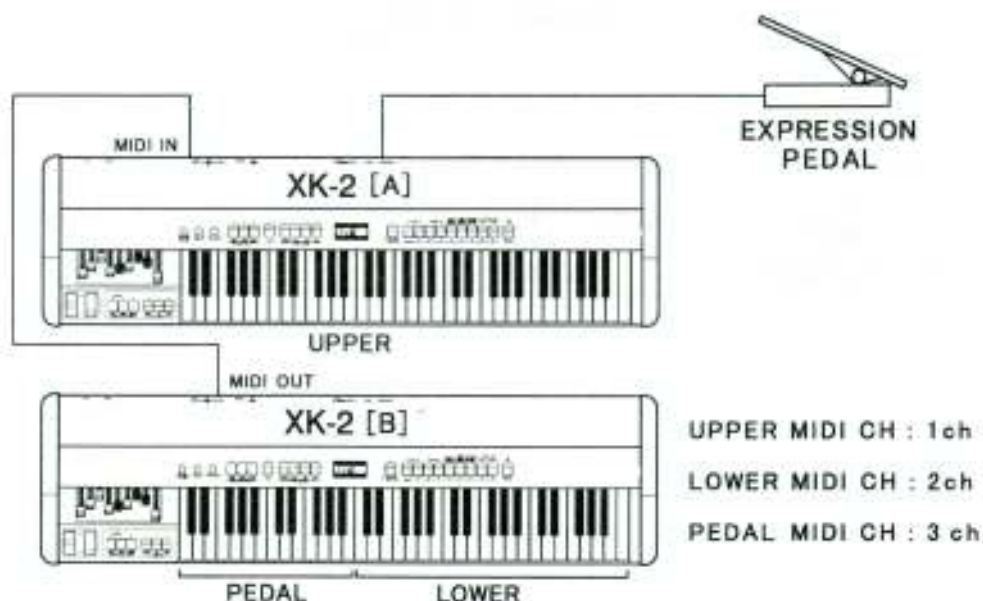
機能名	値の範囲	エディット#
SELECT DEMO SONG	SONG1～3	U12

// XK-2の一步進んだ使い方

■フル・マニュアルオルガンの設定1

XK-2を2台使ってフル・マニュアルオルガンにシステムアップすることができます。

1. 下図のように接続します。



2. XK-2 [B] のスプリットモードを [PK+LM] に設定します。

エディット#P35
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PRESET 6 スイッチ
 3. PAGE ▶スイッチ×1

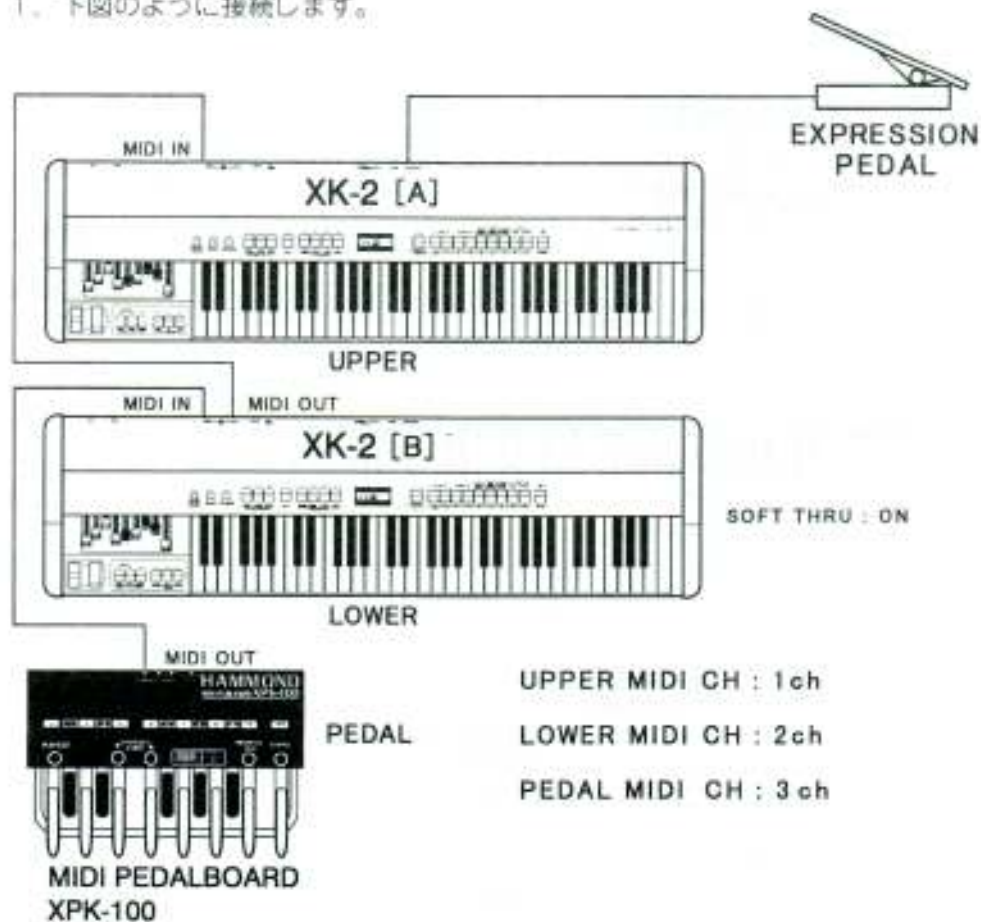
XK-2 [A] のスイッチでレスリー等のコントロールを行います。

XK-2 [B] のドローパーでローワーの音をコントロールします。

■フル・マニュアルオルガンの設定 2

XK-2を2台と外部キーボードを使ってフル・マニュアルオルガン（3段鍵盤）にシステムアップすることができます。

1. 下図のように接続します。



2. XK-2 [B] のソフトスルーをオンに設定します。

エディット# S31
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PRESET 6 スイッチ
 3. PAGE▶スイッチ×1

3. XK-2 [B] のスプリットをオンにします。

4. XK-2 [B] のスプリットポイントを [6C] に設定します。

エディット# P34
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PRESET 6 スイッチ×1

XK-2 [A] のスイッチでレスリー等のコントロールを行います。

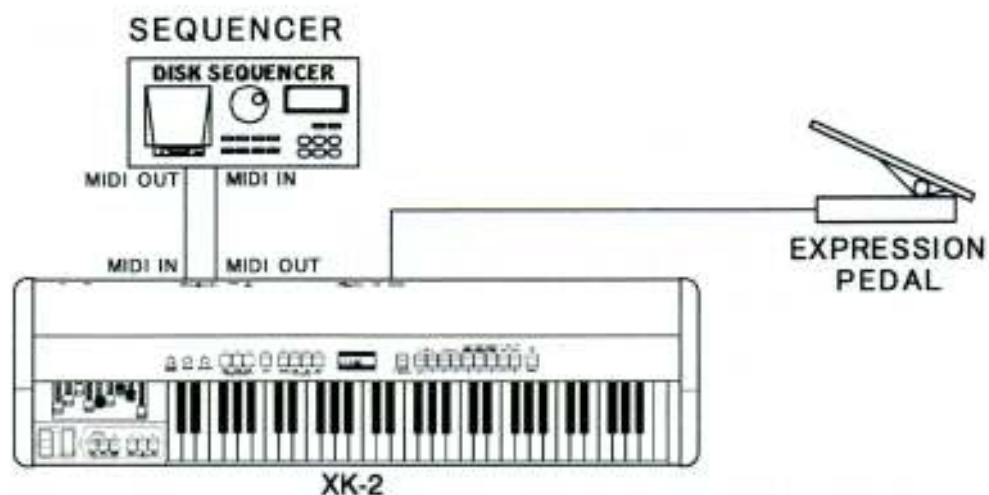
XK-2 [B] のドローバーでローの音をコントロールします。

外部のキーボードのMIDIチャンネルを3chにするとペダルの音を発音させることができます。

■シーケンサーとの接続

●XK-2（1台）とシーケンサーとの接続

1. 下図のように接続します。



2. XK-2のローカルをオフに設定します。

エディット# S31
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PRESET 8スイッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×4

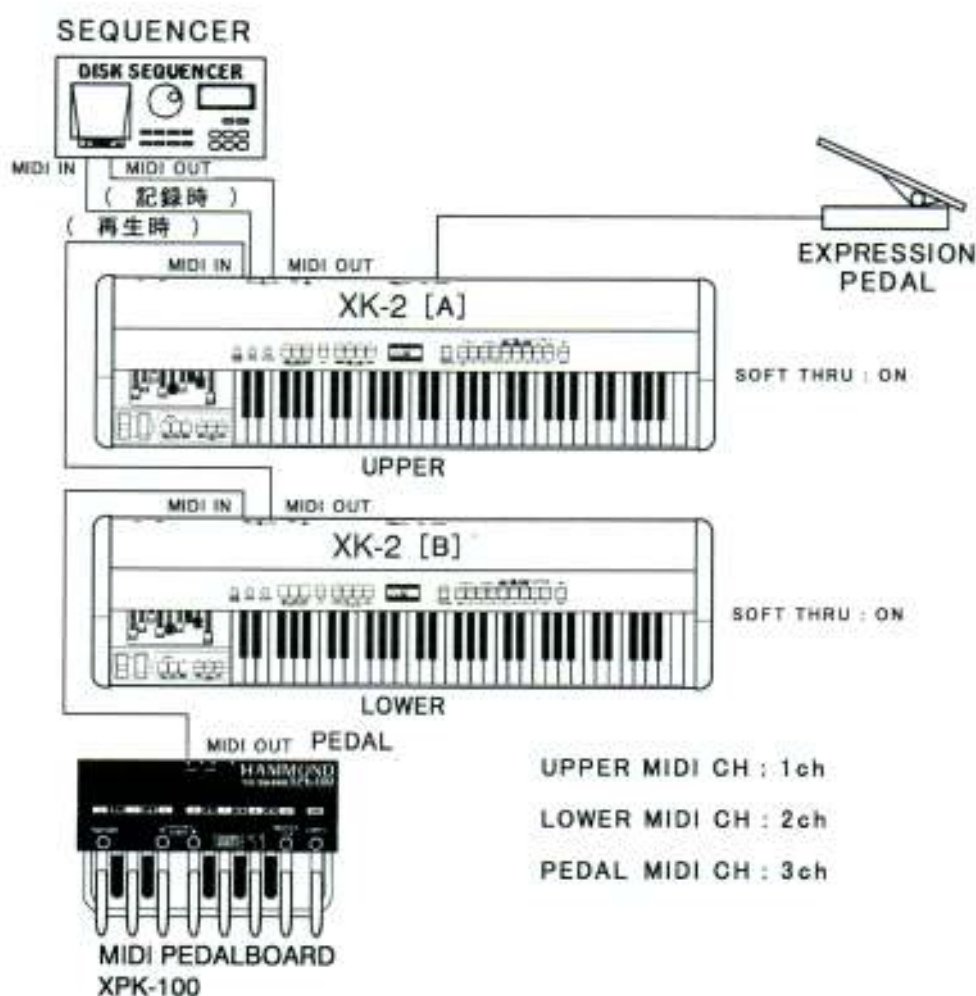
3. シーケンサーのソフトスルーをオンに設定します。

4. シーケンサーをスタートさせて、演奏を始めます。

この場合、機器の接続をそのまま、再生することができます。

●XK-2 (2台) と外部キーボードとシーケンサーとの接続

1. 下図のように接続します。



2. XK-2 [A] のローカルをオンに設定します。

エディット# S31
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMス8イッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×4

3. XK-2 [A] , [B] のソフトスルーをオンに設定します。

エディット# S31
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMス8イッチ×2
 3. PAGE▶スイッチ×21

4. シーケンサーをスタートさせて、演奏を始めます。
5. 再生するとき、上図のようにXK-2、AのMIDI INとシーケンサーのMIDI OUTを接続し直します。

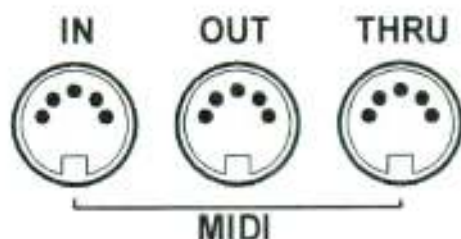
外部のキーボードのMIDIチャンネルを3chにするとペダルの音を発音させることができます。

// MIDIとは？

MIDIは、Musical Instruments Digital Interfaceの略です。XK-2はMIDIを使い、他の電子楽器やシーケンサー、コンピューターをコントロールすることができます。

MIDIはMIDI協議会により定められた世界統一の規格で、この規格に基づいて作られた電子楽器で、それぞれの楽器に応じて演奏情報を交換することができます。

■ MIDI端子について



● MIDI IN

外部のMIDI機器からMIDI情報を受信します。外部の電子楽器やシーケンサーから送信された演奏情報により、XK-2の音を鳴らしたり、設定を変更したりすることができます。

● MIDI OUT

XK-2が出すMIDI情報を送信します。鍵盤を弾いた情報やドローパー・レジストレーション情報を他の電子楽器やシーケンサーに送信します。

● MIDI THRU

MIDI INから受信したデータをそのまま送信します。送信するデータはMIDI INで受信した情報と同じ情報が送信されます。ここにもう1つの電子楽器を接続することで、MIDI INした情報を他の電子楽器に分配することができます。

■ MIDI チャンネル

MIDIには1～16までのMIDIチャンネルがあります。これによりMIDIで送信されるたくさんの演奏情報をチャンネルに分けて選ぶことができます。送信したMIDI機器のチャンネルに受信するMIDI機器のチャンネルを合わせることで、送信される情報の中からそのMIDI機器に必要な情報だけを選択することができます。MIDIチャンネルはテレビのチャンネルに例えることができます。必要な情報を放送する放送局にチャンネルを合わせれば、その情報が得られるのと同じことです。



■ XK-2の主なMIDI情報

MIDI情報は16のチャンネルごとに扱うチャンネル・メッセージと全てのチャンネル共通に扱うシステム・メッセージとに大きく分かれます。XK-2が送受信する主なMIDI情報は以下の通りです。詳しくはMIDIインプリメンテーション・チャートをご覧ください。

<チャンネル・メッセージ>

●ノートオン

どの鍵盤（ノートナンバー）を、どの速さ（ベロシティ）で、弾いた（ノートオン）かの3つのデータから構成され、まとめて扱われます。

※XK-2はパーカッションのみ設定によりベロシティを受信します。

●プログラムチェンジ

MIDI OUT : 相手の電子楽器の音色をプログラムナンバーで指定し、音色切換えを行います。
MIDI IN : 相手の電子楽器で指定されたプログラムナンバーで、XK-2のプリセットが切替わります。

※XK-2のプリセットはプログラムチェンジ1（キャンセル）～65に該当します。

●コントロールチェンジ

エクスプレッション、フットスイッチ、モジュレーションなどの動作に対応して送受信されません。

<システム・メッセージ>

●システムエクスクルーシブ・メッセージ

このメッセージは同一機種または同一メーカーの互換性を持つ機種同士で、固有のデータを送受信するためのものです。

XK-2はエクスクルーシブ・メッセージを使って、メモリーダンプ（XK-2本体のパラメータの送信）を行い、シーケンサーに記録することができます。

SYSTEM PARAMETER LIST

NO	FUNCTION	PARAMETERS	DEFAULT SETTINGS
01	MASTER TUNE	430 ~ 450 Hz	440
02	TUNE MODE	E-TEMPERA, B3-PITCH	B3-PITCH
03	TRANSPOSE	-6 ~ 0 ~ +6	0
04	DB VOLUME UM	0 ~ 127	127
05	DB VOLUME LM	0 ~ 127	127
06	DB VOLUME PK	0 ~ 127	127
07	FOOT SW SELECT	LES S/F UM DAMPER LM DAMPER PRESET FW OFF	LES S/F
08	FOOT SW MODE1 PRESS	ON, OFF	ON
09	FOOT SW MODE2	ALTERNATE, MOMENTARY	ALTERNATE
10	MIDI UM CHANNEL	1 ~ 16, OFF	1
11	MIDI LM CHANNEL	1 ~ 16, OFF	2
12	MIDI PK CHANNEL	1 ~ 16, OFF	3
13	MIDI EXP. CTR	1 ~ 16, INDIV.	INDIV.
14	MIDI LOCAL	ON, OFF	ON
15	MIDI OMNI	ON, OFF	OFF
16	MIDI NRPN	ON, OFF	OFF
17	MIDI FOOTSW CTR#	0 ~ 127	64
18	MIDI MOD. CTR#	0 ~ 127	1
19	MIDI EXP. CTR#	0 ~ 127	7
20	MIDI LES S/F CTR#	0 ~ 127	92
21	MIDI PRG. CHANGE	ON, OFF	ON
22	MIDI DB CHANGE	ON, OFF	ON
23	MIDI CTR. CHANGE	ON, OFF	ON
24	MIDI Tx BENDER	ON, OFF	ON
25	MIDI Tx MOD.	ON, OFF	ON
26	MIDI Rx BREATH	ON, OFF	OFF
27	MIDI Rx AFT	OFF, LES S/F, OD, BEND	OFF
28	MIDI VOLUME max.	0 ~ 127	127
29	MIDI VOLUME min.	0 ~ 127	40
30	MIDI Rx TRANSPOSE	ON, OFF	OFF
31	MIDI SOFT THRU	ON, OFF	OFF

LESLIE PARAMETER (NRPN) LIST

Bx 62h(99) 00 x : UPPER CHANNEL
 Bx 63h(99) aa aa : NRPN code
 Bx 06h(6) bb bb : NRPN data

NO	FUNCTION	NRPN code[aa]	NRPN data[bb]
01	SLOW SPEED HORN ROTR	70(112)	0, 24~48rpm:00~0C
02	SLOW SPEED BASS ROTR	71(113)	0, 24~48rpm:00~0C
03	FAST SPEED HORN ROTR	72(114)	0, 375~435rpm:00~15
04	FAST SPEED BASS ROTR	73(115)	0, 375~435rpm:00~15
05	RISE TIME HORN ROTR	74(116)	0.2~5.0s:00~18
06	RISE TIME BASS ROTR	75(117)	0.5~12.5s:00~18
07	FALL TIME HORN ROTR	76(118)	0.2~5.0s:00~18
08	FALL TIME BASS ROTR	77(119)	0.5~12.5s:00~18
09	BRK TIME HORN ROTR	78(120)	0.2~5.0s:00~18
10	BRK TIME BASS ROTR	79(121)	0.5~12.5s:00~18
11	HORN ROTR VOLUME	7A(122)	0~-12db:00~0C
12	BASS ROTR VOLUME	7B(123)	0~-12db:00~0C
13	MIC. SET ANGLE	7C(124)	0~180°:00~06
14	MIC. SET DISTANCE	7D(125)	0.3~2.7m:00~09
15	LESLIE PERCUSSION	7E(126)	OFF:00 ON:7F

ex. MIC. SET ANGLE DISTANCE : 2.7m
 Bx 62 00 63 7D 06 09
 x : UPPER CHANNEL NUMBER

PRESET PARAMETER (NRPN) LIST

NO	FUNCTION	NRPN code[aa]	NRPN data[bb]
	(SWITCH)		
Panel	VIBRATO MODE	45 (69)	1:00 2:01 3:02
Panel	VIBRATO CHORUS	0B (11)	OFF:00 ON:7F
Panel	LESLIE BRAKE	6E (110)	OFF:00 ON:7F
Panel	LESLIE ON	09 (9)	OFF:00 ON:7F
Panel	LESLIE FAST	00 (0)	SLOW:00 FAST:7F
Panel	SPLIT	NO	OFF:00 ON:7F
Panel	PERCUSSION SECOND	12 (18)	OFF:00 ON:7F
Panel	PERCUSSION THIRD	13 (19)	OFF:00 ON:7F
Panel	PERCUSSION DECAY FAST	16 (22)	OFF:00 ON:7F
Panel	PERCUSSION SOFT	15 (21)	OFF:00 ON:7F
	(NAME)		
01	PRESET NAME	NO	10 characters
	(DRAWBAR)		
02	DB REGIST UM	NO (Bx 50 yy)	
03	DB REGIST LM	NO (Bx 51 yy)	
04	DB REGIST PK	NO (Bx 52 yy)	
05	DB ATTACK UM	3B (59)	SLOW ATTACK:00 NO CLICK:01 SOFT CLICK:02 NORM CLICK:03 MAX CLICK:04
06	DB ATTACK LM	3C (60)	SLOW ATTACK:00 NO CLICK:01 SOFT CLICK:02 NORM CLICK:03 MAX CLICK:04
07	DB ATTACK PK	3D (61)	SLOW ATTACK:00 NO CLICK:01 SOFT CLICK:02 NORM CLICK:03 MAX CLICK:04
08	DB SUSTAIN UM	1C (28)	OFF:00 SHORT:01 MID:02 LONG:03
09	DB SUSTAIN LM	1D (29)	OFF:00 SHORT:01 MID:02 LONG:03
10	DB SUSTAIN PK	1E (30)	OFF:00 SHORT:01 MID:02 LONG:03
11	DB VOICING UM	38 (56)	B-TYPE:00 MELLOW:01 BRITE:02
12	DB VOICING LM	39 (57)	B-TYPE:00 MELLOW:01 BRITE:02
13	DB VOICING PK	3A (58)	NORMAL:00 MUTED:01
14	DB FOLD BACK UM LOW	5B (91)	1C~2C:00~0C
15	DB FOLD BACK UM HIGH	5C (92)	4G~5C:2B~30
16	DB FOLD BACK LM LOW	5D (93)	1C~2C:00~0C
17	DB FOLD BACK LM HIGH	5E (94)	4G~5C:2B~30

NO	FUNCTION	NRPN code [aa]	NRPN data [bb]
(PERC.)			
18	PERC. DECAY SLOW SPEED	50 (80)	1~8:00~07
19	PERC. DECAY FAST SPEED	51 (81)	1~8:00~07
20	PERC. LEVEL NORMAL	52 (82)	1~16:00~0F
21	PERC. LEVEL SOFT	53 (83)	1~16:00~0F
22	PERC. TOUCH	57 (87)	OFF:00 ON:7F
23	PERC. VELOCITY	58 (88)	OFF:00 ON:7F
24	PERC. DB CANCEL	5A (90)	OFF:00 ON:7F
25	PERC. DB LEVEL	5F (95)	0:00 -3db:7F
26	PERC. KEY TRACKING	6C (108)	OFF:00 ON:7F
(ANIMATION)			
27	VIBRATO SPEED	3F (63)	SLOW:00 MID :01 NORM:02 MIDF:03 FAST:04
28	LESLIE PRESET	6F (111)	#1~#5:00~04
29	REVERB MODE	7E (126)	ROOM :00 LIVE :01 HALL :02 CHURCH:03
30	REVERB LEVEL	NO	0~15:00~0F
31	OVERDRIVE LEVEL	6D (109)	0~15:00~0F
32	TREBLE	6A (106)	1~6:00~05
33	OSCILLATOR PHASE CNT.	6B (110)	OFF:00 ON:7F
(INT CONT.)			
34	SPLIT POINT	NO	1C~6C:00~3C
35	SPLIT VOICE	NO	LOWER:00 PEDAL:01
36	LM OCTAVE UP	NO	0:00 1:01 2:02
37	BENDLENGTH UM	NO (RPN)	
38	BENDLENGTH LM	NO (RPN)	
39	BENDLENGTH PK	NO (RPN)	
40	MODULATION MODE	NO	OFF:00 LES S/F:01
41	ORGAN ZONE KEYMAP LOW	NO	1C~6C:00~3C
42	ORGAN ZONE KEYMAP HI	NO	1C~6C:00~3C
(EXT CONT.)			
43	ZONE1 CHANNEL	NO	NO
44	ZONE1 PROGRAM#		
45	ZONE1 BANK# MSB		
46	ZONE1 BANK# LSB		
47	ZONE1 KEYMAP LOW		
48	ZONE1 KEYMAP HI		
49	ZONE1 KEY OCTAVE		
50	ZONE1 VOLUME MAX		
51	ZONE1 VOLUME MIN		
52	ZONE1 VELOCITY CURVE		
53	ZONE1 BENDER		
54	ZONE1 MODULATION		
55	ZONE1 DAMPER		
56	ZONE2 CHANNEL		
57	ZONE2 PROGRAM#		
58	ZONE2 BANK# MSB		
59	ZONE2 BANK# LSB		
60	ZONE2 KEYMAP LOW		
61	ZONE2 KEYMAP HI		
62	ZONE2 KEY OCTAVE		
63	ZONE2 VOLUME MAX		
64	ZONE2 VOLUME MIN		
65	ZONE2 VELOCITY CURVE		
66	ZONE2 BENDER		
67	ZONE2 MODULATION		
68	ZONE2 DAMPER		

Model: XK-2 MIDI Implementation Chart (Each Channel)

FUNCTION		UPPER		LOWER		PEDAL		ZONE 1		ZONE 2		EXP. CONT.		
		OUT	IN	OUT	IN	OUT	IN	OUT	IN	OUT	IN	OUT	IN	
MIDI CHANNEL		1~16, OFF		1~16, OFF		1~16, OFF		1~16 OFF	x	1~16 OFF	x	INDIV.	1~16 INDIV.	
PROGRAM CHANGE		○	○	x	x	x	x	○	x	○	x	x	x	
PITCH BEND		○	○	○	○	○	○	○	x	○	x	x	x	
CONTROL CHANGE	BANK SELECT MSB	0	x	x	x	x	x	○	x	○	x	x	x	
	LSB	32	x	x	x	x	x	○	x	○	x	x	x	
	MODULATION	1	○	○	x	x	x	○	x	○	x	x	x	
	VOLUME	※1 7(2)	○	○	○	○	○	※3	x	※3	x	※3	x	
	EXPRESSION	※2 11	○	○	○	○	○	○	x	○	x	○	○	
	TREMOLO	92	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	HOLD 1	64	○	○	○	○	○	○	x	○	x	x	x	
	NRPN	LSB	98	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		MSB	99	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	RPN	LSB	100	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		MSB	101	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	DATA ENTRY	MSB	6	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	UM DRAMBAR	80	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	LM DRAMBAR	81	x	x	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x
PK DRAMBAR	82	x	x	x	x	○	○	x	x	x	x	x	x	
AFTER TOUCH	CH'S		x	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	KEY'S		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	

※1 : VOLUMEのコントロールナンバーは2または7で、後に受信したものが有効になります。
コントロールナンバー2は、Rx. BREATH=ONの時のみ受信します。

※2 : エクスプレッションペダルの送信コントロールナンバーは、自由に変更できます。
EXPRESSIONの受信は、MIDI EXP. CTRがINDIVの場合各パートのチャンネルで、
1~16の場合そのチャンネルのみで行われます。

※3 : MIDI EXP. CTR#によって、エクスプレッションペダルの値をVOLUMEとして送信することは可能です。

Drawbar MIDI Data

CONTROL CHANGE

Bx 50h(80)yy:UPPER
 Bx 51h(81)yy:LOWER
 Bx 52h(82)yy:PEDAL

x:MIDI channel for each manual
 yy:data

UPPER/LOWER/PEDAL DATA MAP

DRAWBAR	UPPER/LOWER DATA :yy									PEDAL DATA:yy	
	16'	5 1/3'	8'	4'	2 2/3'	2'	1 3/5'	1 1/3'	1'	16'	8'
Level 0	00h(0)	09h(9)	12h(18)	18h(27)	24h(36)	2Dh(45)	36h(54)	3Fh(63)	48h(72)	00h(0)	09h(9)
Level 1	01h(1)	0Ah(10)	13h(19)	1Ch(28)	25h(37)	2Eh(46)	37h(55)	40h(64)	49h(73)	01h(1)	0Ah(10)
Level 2	02h(2)	0Bh(11)	14h(20)	1Dh(29)	26h(38)	2Fh(47)	38h(56)	41h(65)	4Ah(74)	02h(2)	0Bh(11)
Level 3	03h(3)	0Ch(12)	15h(21)	1Eh(30)	27h(39)	30h(48)	39h(57)	42h(66)	4Bh(75)	03h(3)	0Ch(12)
Level 4	04h(4)	0Dh(13)	16h(22)	1Fh(31)	28h(40)	31h(49)	3Ah(58)	43h(67)	4Ch(76)	04h(4)	0Dh(13)
Level 5	05h(5)	0Eh(14)	17h(23)	20h(32)	29h(41)	32h(50)	3Bh(59)	44h(68)	4Dh(77)	05h(5)	0Eh(14)
Level 6	06h(6)	0Fh(15)	18h(24)	21h(33)	2Ah(42)	33h(51)	3Ch(60)	45h(69)	4Eh(78)	06h(6)	0Fh(15)
Level 7	07h(7)	10h(16)	19h(25)	22h(34)	2Bh(43)	34h(52)	3Dh(61)	46h(70)	4Fh(79)	07h(7)	10h(16)
Level 8	08h(8)	11h(17)	1Ah(26)	23h(35)	2Ch(44)	35h(53)	3Eh(62)	47h(71)	50h(80)	08h(8)	11h(17)

System Exclusive Message

Model : XK-2

1. Format

F0h	System Exclusive
55h	SUZUKI ID Number
[DID]	Device No. (XK-2=00)
10h	Model ID Number (High)
0Bh	Model ID Number (Low)
11h	Command (Data packet)
[BODY]	DATA
F7h	End of Exclusive

2. Body

02h	Data Type(02h:User program)
[PNH]	Packet Number(High) 0001~7F7F
[PNL]	Packet Number(Low)
[DATA]	256byte ASCII(128byte data)
[SUM]	Check Sum(7bit) 256byte ASCII XOR

3. Acknowledge

F0h	System Exclusive
55h	SUZUKI ID Number
[DID]	Device No. (XK-2=00)
10h	Model ID Number (High)
0Bh	Model ID Number (Low)
14h	Command Acknowledge
[AK]	AK Type 00h:Normal 05h:Check Sum Error 06h:Protect SW On
[PNH]	Packet Number (High)
[PNL]	Packet Number (Low)
F7h	End of Exclusive

4. Hand shake communication

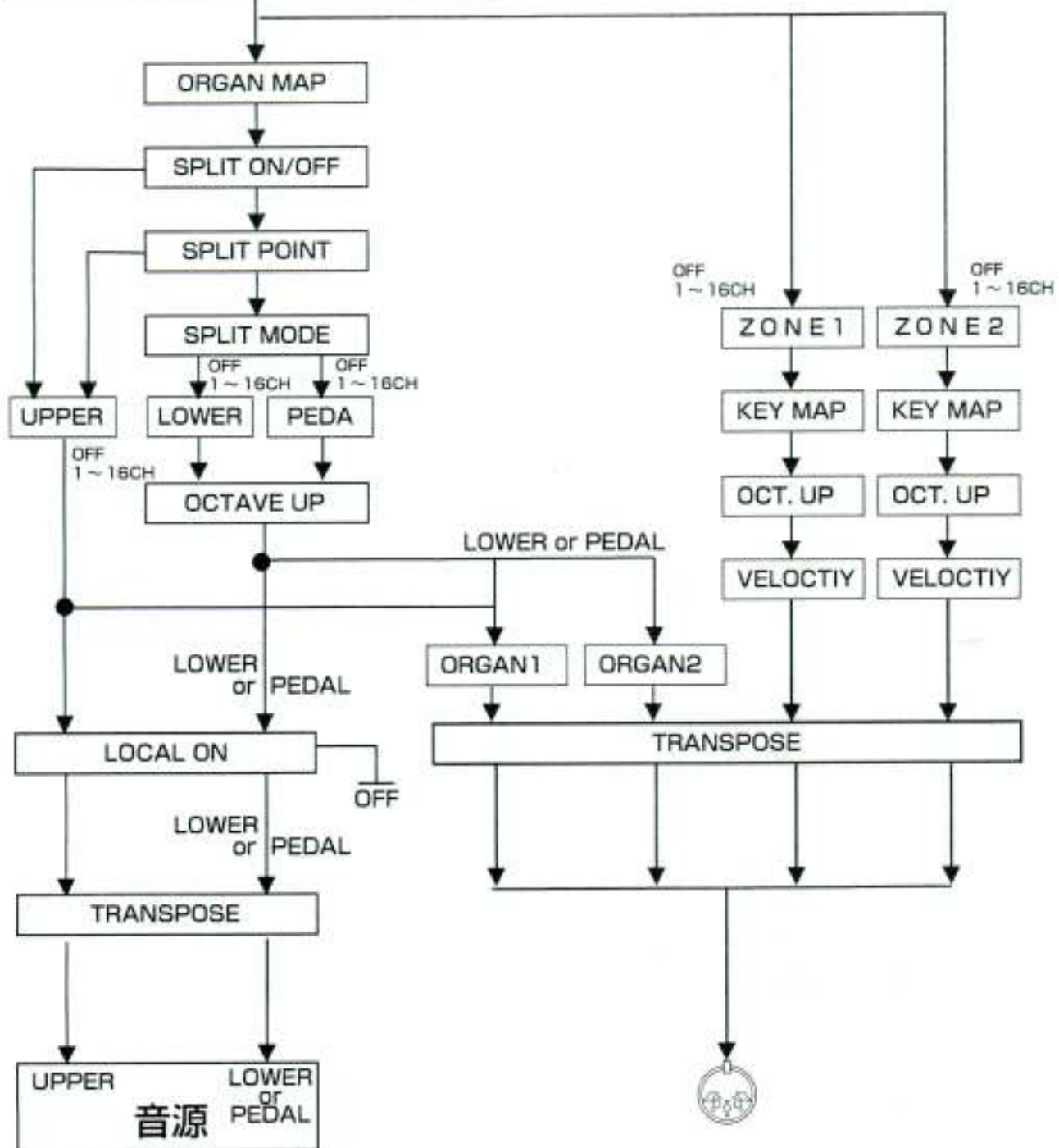
(One way transfer)

Master (XB-1)	Slave
Data out Packet1	→
	← Acknowledge
Data out Packet2	→
	← Acknowledge
	⋮
Data out Packet58	→
	← Acknowledge

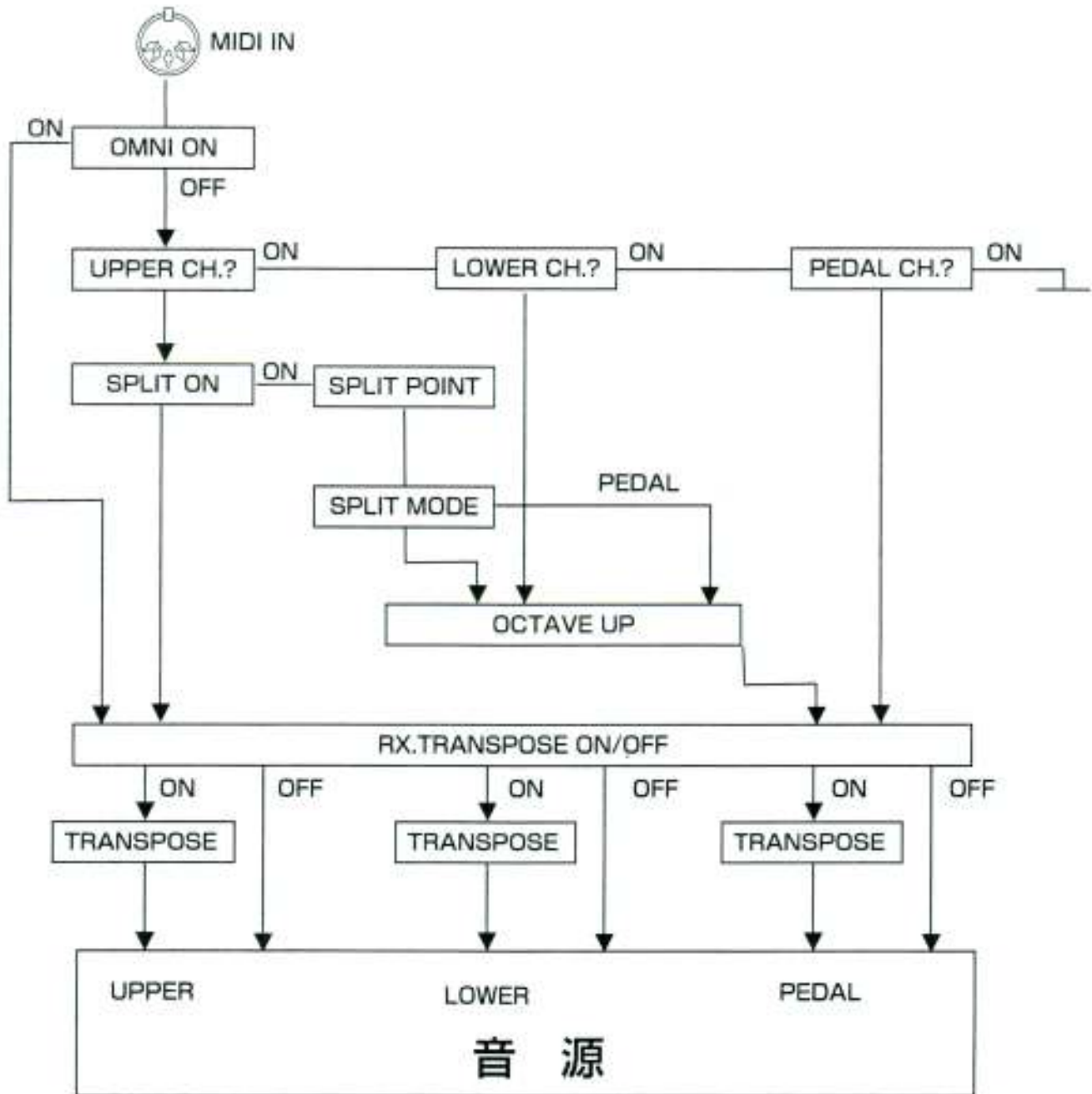
The organ will wait for the data for 20ms if no acknowledge is received and transmit the next data of the packet number. (ONE WAY TRANSFER)

20msの間、アックラッジ (Acknowledge) を受信しなければ、次のパケット(packet)を送信します。(ワンウェイ方式)

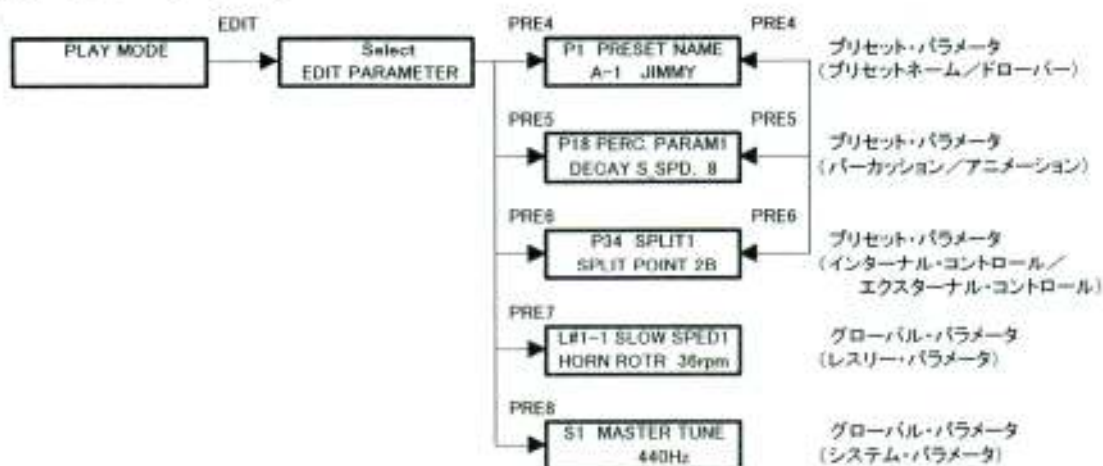
MIDIキーデータチャート XK-2 MIDI OUT



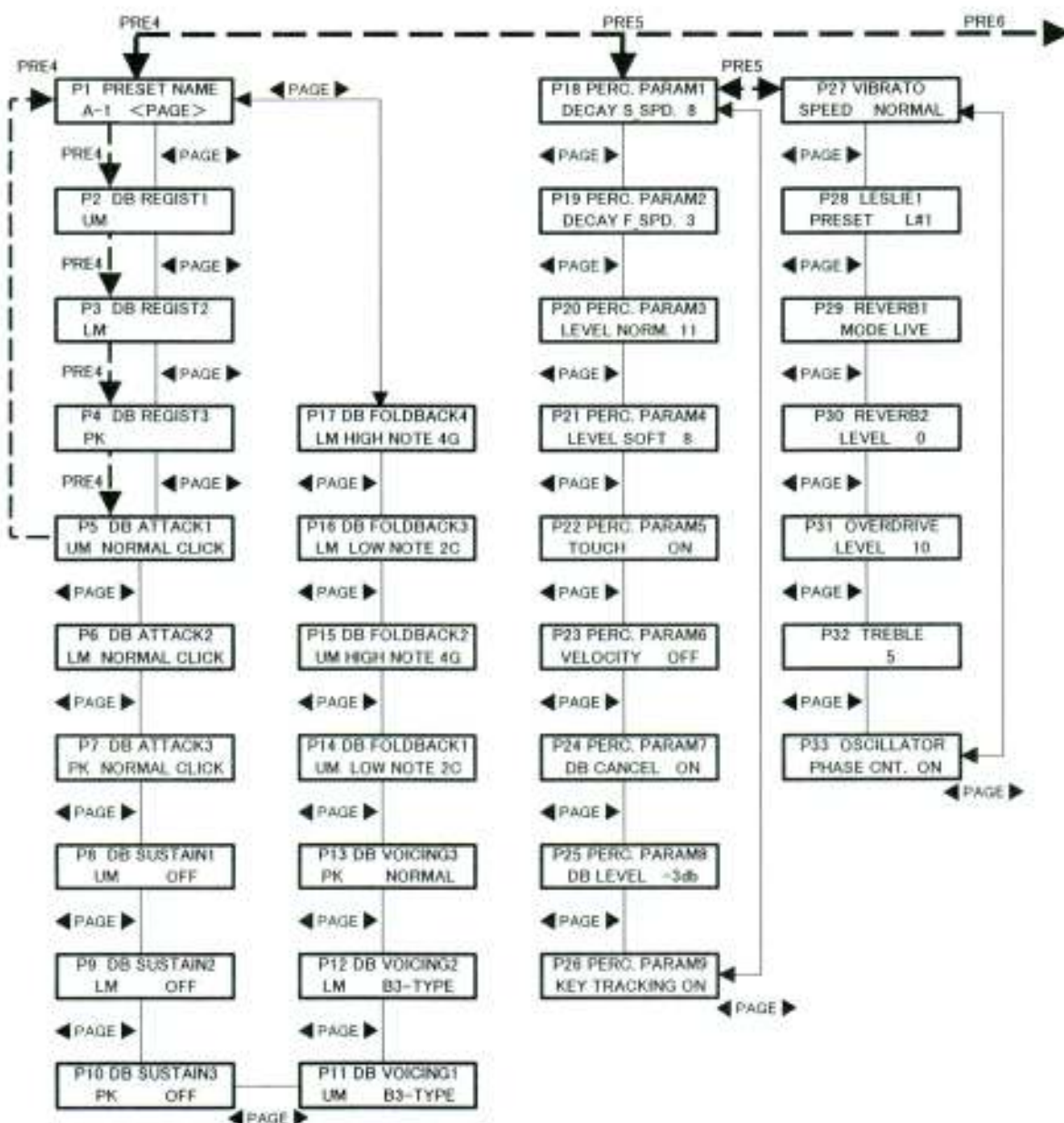
XK-2 MIDI IN

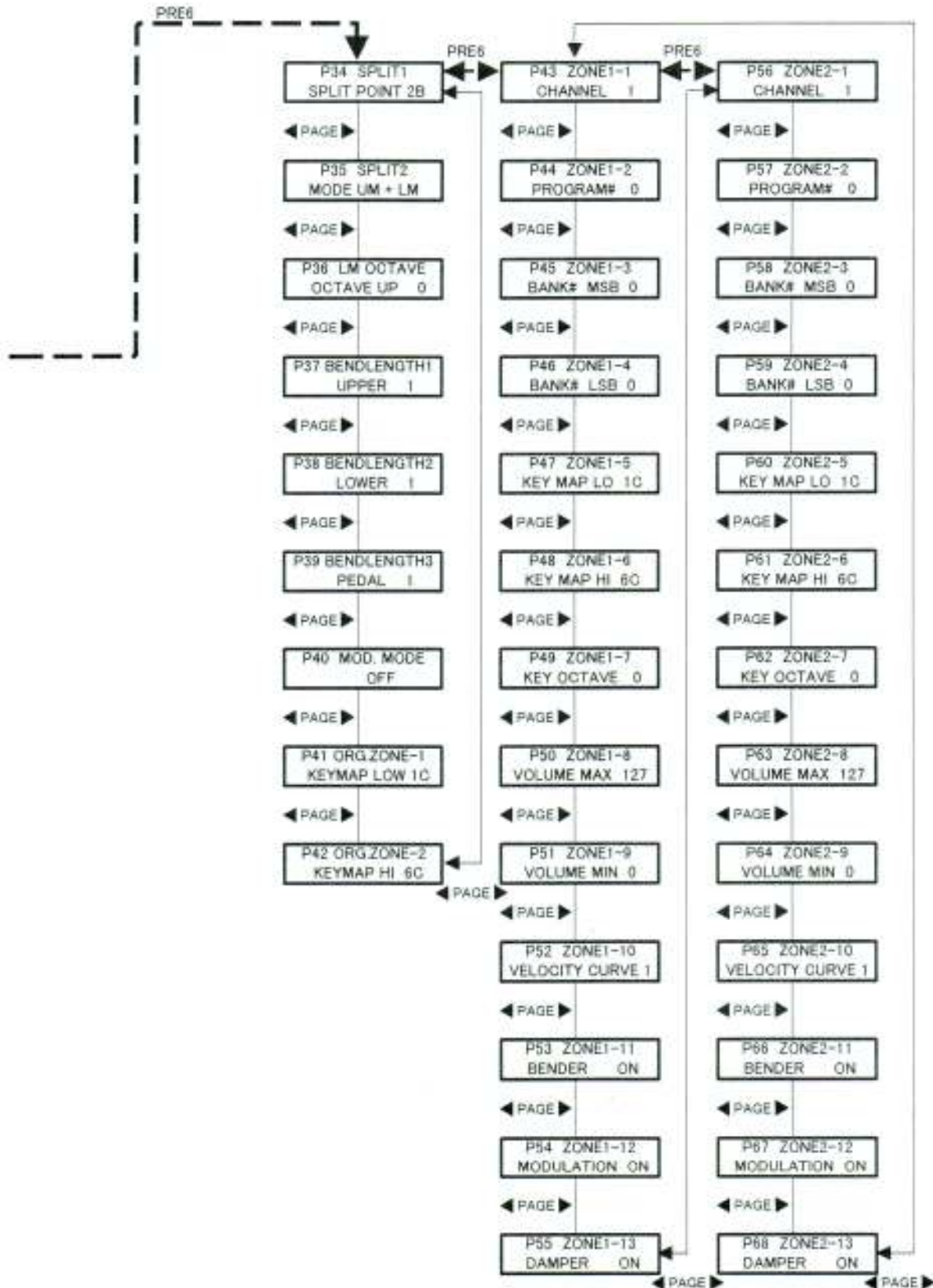


操作フローチャート

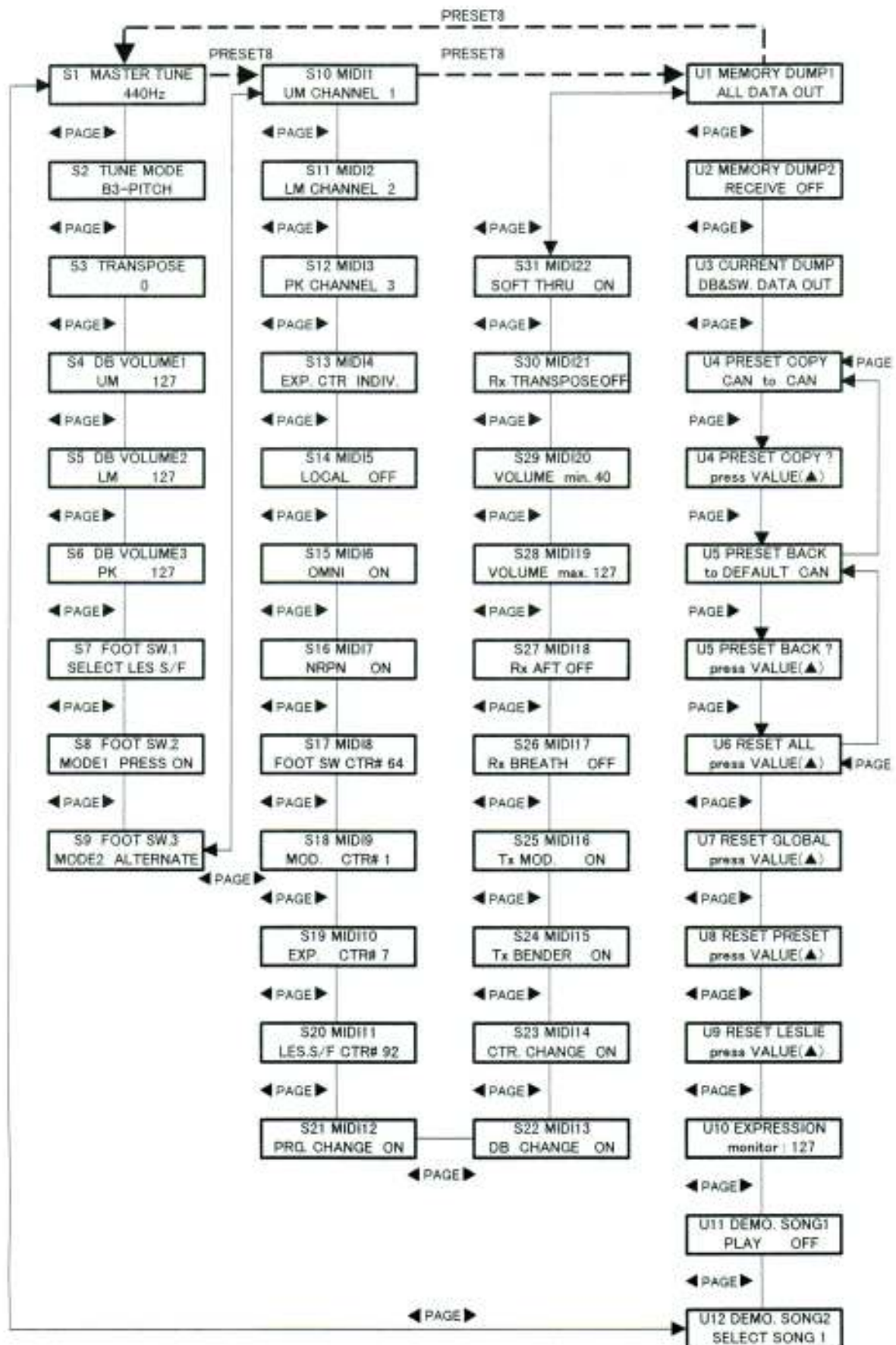


プリセット・パラメータ

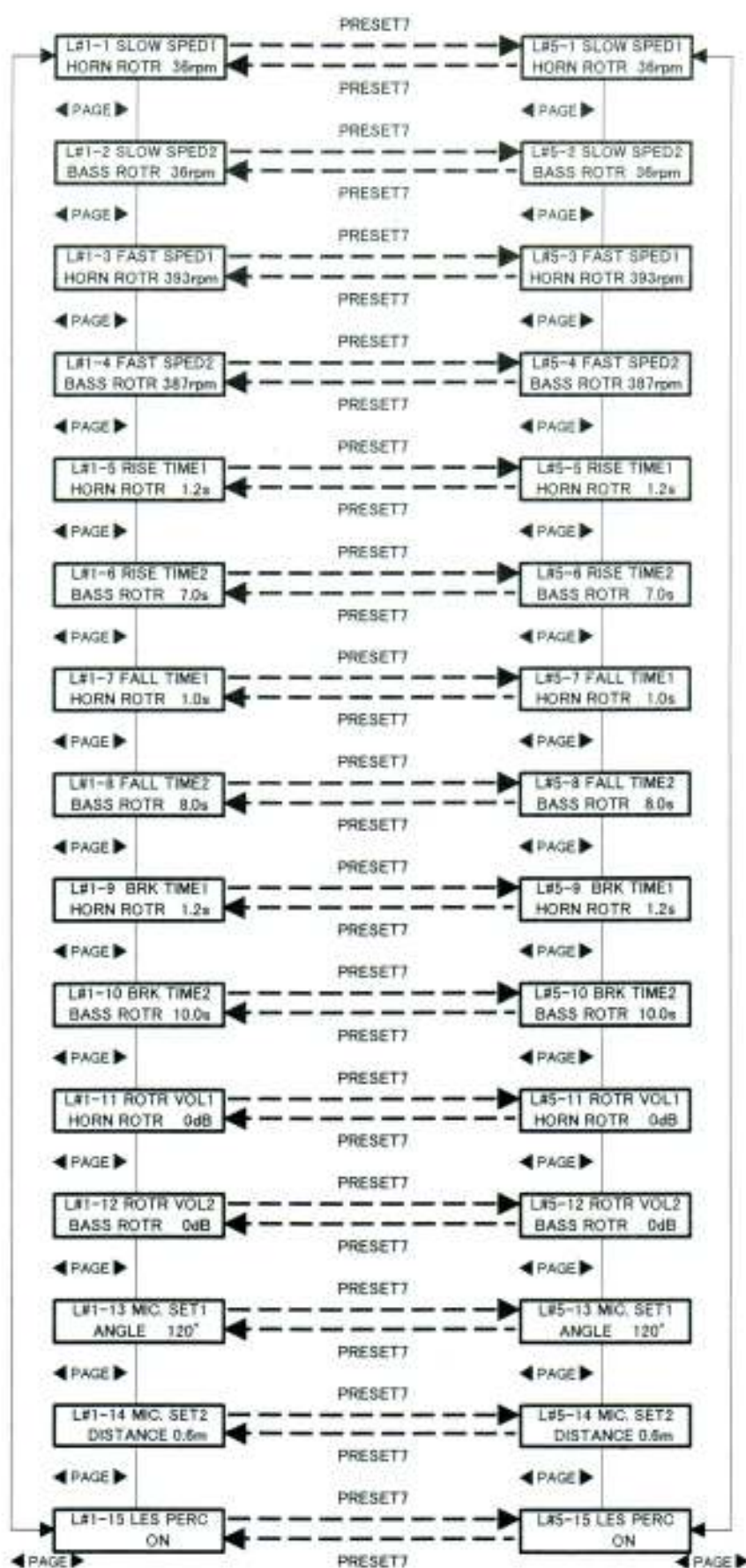




グローバル・パラメータ(システム・パラメータ)



グローバル・パラメータ(レスリー・パラメータ)



XK-2 仕様

Keyboard		61keys with velocity
Drawbar		"(9pitch) 16', 5 1/3', 8', 4', 2 2/3', 2', 1 3/5', 1 1/3', 1"
Sound Generator		VASEII+DRB system
Drawbar Voice		B-3TYPE/MELLOW/BRITE
Max. Poliphony		32notes
Internal Memory		64presets(8 × 8bank)+1 cancel
Leslie		2Rotor Digital Leslie
Vibrato		Digital Scanner Vibrato(V1/V2/V3/C1/C2/C3)
Effect		Reverb (4modes)
Wheel		"PITCH BEND, MODULATION"
MIDI		"Upper, Lower, Pedal (3Part Multitimbral)"
Panel Controls	Leslie	"SLOW/FAST, ON/OFF, BRAKE/THRU"
	Vibrato	"VIBRATO1, VIBRATO2, CHORUS"
	Percussion	"SECOND, THIRD, DECAY FAST, SOFT"
	Preset	"BANK SELECT, EDIT/RECORD, CANCEL, PRESET1, PRESET2" "PRESET3, PRESET4, PRESET5, PRESET6, PRESET7, PRESET8"
	D/B select	"UPPER, LOWER, PEDAL"
	Split	ON/OFF
	Volume	"MASTER VOLUME, REVERB VOLUME, OVERDRIVE VOLUME"
Rear Panel	Tone control	"BASS,TREBLE"
Edit		PRESET NAME DRAWBAR PERCUSSION ANIMATION INTERNAL CONTROL EXTERNAL ZONE CONTROL LESLIE SYSTEM
Display		"16-character, 2-line backlight LCD"
Connector		"AC INPUT, LINE IN L/R, LINE OUT L/R, LESLIE OUT, MIDI IN/OUT/THRU," "HEADPHONE, FOOT SWITCH, EXP. PEDAL"
Power Supply		100V
Power Consumption		15W
Dimension		1168(W)x397(D)x111(D)
Weight		18.5kg
Accessories		AC Cord

アフターサービスと保証について

1. この商品には、保証書を添付しております。保証書は販売店にて販売店名、ご購入日、シリアルナンバー等記載の上お渡しいたしますので、所定の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入日より1年間とさせていただきます。ただし当社の責任と思われぬ故障に関しては有料となる場合もあります。また保証は日本国内に限らせていただきます。
3. アフターサービスに関してはお買い上げ販売店、または下記記載箇所へご連絡ください。

株式会社 **鈴木楽器製作所**

00457-40017 V1.00-9906-2C-MS-MM-056-A-G